デジタル・ビデオ・レコーダ

PDR-S2000シリーズ

4, 8, 16チャンネル共通

取扱説明書

VER S2-1.2_J4

- この度はデジタル・ビデオ・レコーダをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解いただいた上で、正しくご使用されますよう、お願い申し上げます。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニタ・警報装置およびコンピュータを接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

目次

免責事項 4

警告 4

注意 5

故障を防ぐために 5

梱包品の確認 7

I.各部の名称とはたらき 7

1. 前面パネル 7
2. 背面パネルのコネクタ 10
3. リモート・コントローラ 11

II. 設置 & 接続 12

1. カメラ、 モニタ、 マイク、 アラーム・センサーおよび電源コード 12
2. HDD 接続 13
3. ネットワーク接続用**PC**のシステム条件 14

III.クイック・スタート・ページ 15

IV.ライブ監視 17

1. 表示概要 17
2. 分割画面表示および画面自動切替 18
2.1 1画面表示 18
2.2 分割画面表示および画面自動切替表示 18
3. ズーム機能 19
4. スポット・モニタ 20

V. メインメニューの操作 21

1. メイン・メニューの概要 21

2. 画面 21
2.2. 画面自動切替設定 23
3. カメラ 23
4. モーション 25
5. 録画 27
6. アラーム録画 29
6.1. 録画設定 29
6.2. アラーム設定 30
6.3. アラーム使用設定 31
7. 予約録画 33
8. ネットワーク設定 35
8.1. IPアドレス設定 35
8.3. Eメール 37
9. システム設定 40
9.1. 設定 40
9.2. 日時設定 42
9.3. ユーザー設定 43
9.4. ディスク 44
9.5. システム情報 45

VI. カメラ制御 46

1. カメラ制御メニュー 46
2. プリセット **&** ツアー 47
3. カスタム機能 48
4. P/T/Zカメラ・モデル ― パン/チルト/ズーム カメラ リスト 48

VII.検索・再生 50

1.時間検索 50
2.ログ・リスト検索、アラーム・モーション検索 51

VIII.バックアップ 52

1. 内臓**CD-RW/DVD-R/W** 52
2. 外部**USB**メモリー 54

IX.クライアント・プログラム 56

1. インストレーション 56
1.1. PCの必要なシステム条件 56

1.2. インストールするには 57
2. 特長 59
2.1. CMS概要 59
2.2. 機能 59
3. DVR制御 71
3.1. リスト管理 71
3.2. DVRの状態 73
3.3. カメラの表示 74
3.4. ライブ監視 74
3.5. コンテキスト・メニュー 77
3.6. 再生 78
3.7. DVRメニュー設定 83
4. 仮想DVR 93
4.1. 仮想DVRとは 93
4.2. 仮想セット・リスト管理 94
4.3. 仮想DVRの編集 96
4.4. 仮想DVRのライブ表示 97
付録 1： Web viewer 98
付録 2： CMS Lite 99
付録 3： 仕様 102

免責事項

- この取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい取扱説明書が発行される場合があります。
- デジタル・ビデオ・レコーダ、ソフトウェア、ハード・ディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障による障害またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。

警告

- 本機の通気孔またはスロットを塞がないでください。 器具の過熱防止のため、通気孔とスロットの周囲は最低５ｃｍ空けてください。
- スロット内に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙や異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙等が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機に重い物を落すなどしてケースが変形・破損した場合は直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機に水などの液体を入れないでください。DVRは防水ではありません。本機に液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。本機に水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機のお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は 火災やショートの恐れがあるので避けてください。
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります。

- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は、付属のACアダプタをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・加熱・装置の変形等の恐れがあります。
- 液漏れ・火災・感電・破裂・等により重症を負う恐れがありますので、バッテリーを熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、バッテリーの加熱や分解をしようとしないでください。バッテリーの液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに水で洗い流してください。 また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- バッテリーに強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物でバッテリー端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタと電源コードは、このDVR専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品やバッテリーに使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。温度0～40℃、湿度90%以下でご使用ください。この装置の専用ACアダプタが正常動作するための電源はAC100～240V 50/60Hzです。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターまたは他の強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- デジタル・ビデオ・レコーダ内部に結露を生じたら。結露を発見した場合は直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源コードを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。

注意

- 正規品ではないバッテリーに交換すると破裂の危険があります。バッテリーの廃棄は各地方自治体の指示に従ってください。
- コンセントは装置の近くに設置し、容易に抜き差しできる状態にしてください。

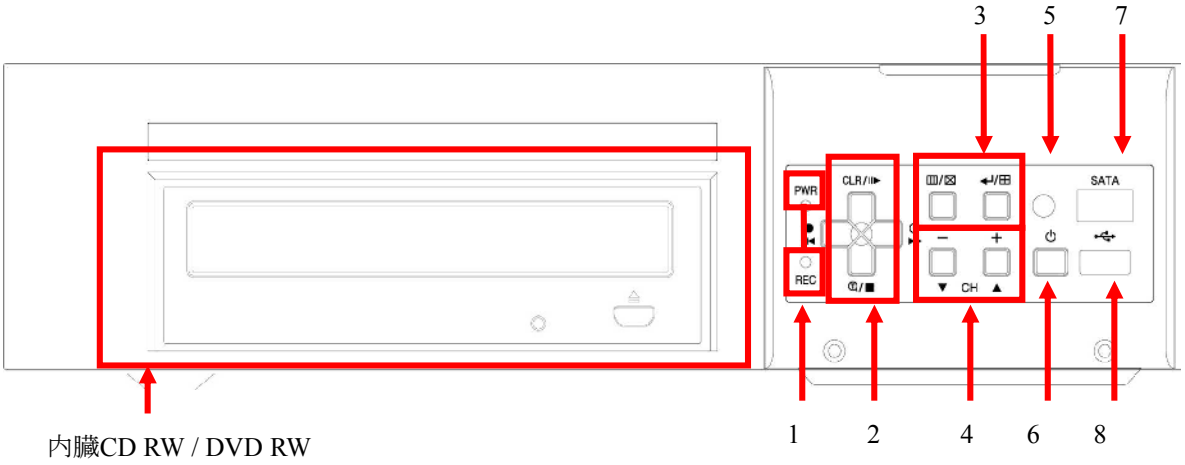
梱包品の確認

パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合はすぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）に必要となりますので、大切に保管してください。

品名	数量	備考
デジタル・ビデオ・レコーダ	1台	
クライアント・ソフトウェアCD	1枚	
リモート・コントローラ	1個	
乾電池 (単4)	2個	
電源コード	1本	
取扱説明書	1冊	本書
ビデオ入力用オクトパス・ケーブル	1個	4ch機以外

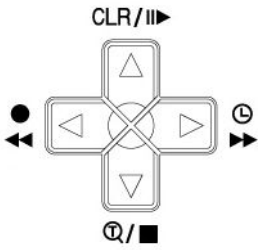
I.各部の名称とはたらき

1. 前面パネル



1. **モード・インジケータ** ： 2個のLEDが本機の状態を表示します。
   電源(緑)・録画(赤)

2. **再生 / 録画制御**　　これらの機能は、ライブモード・再生モード・メニュー内、それぞれの場合によって変わります。



1) [方向 ▲ ▼ ◀ ▶] : メニュー設定モード時のカーソル移動に使用します。

2) CLR/II▶ [クリア/一時停止または再生] :

① **クリア**：ライブ状態では、日時やチャンネル・アイコンのようなオンスクリーン表示情報を非表示にするために使用されます。 このボタンは画面の端に表示される任意の警告アイコン(AL、VLおよびPL)を消すためにも使用されます。このボタンはまた、アラーム・ブザーを止めるためにも使います。

② **一時停止または再生**：再生モード時は一時停止または通常速度の再生に使用します。

3) ◷▶▶ [予約/コマ送りおよび早送り]

① **予約** ： ライブ状態では、予約録画待機状態になります。また予約録画の開始と停止を切り替えることができます。

② **コマ送り**： 再生モード時の一時停止状態では、コマ送りになります。

③ **早送り**：再生モード時には早送りとして使用されます。

4) ⓵Q/■ [時間検索/ 再生停止]

① **時間検索** ： ライブ状態では時間検索メニューに入ります。方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ で日時を選択します。 決定 ボタンを押すと選択された日時が再生されます。

② **停止**： 再生モード時は再生を停止します。

5) ●◀◀ [録画/逆コマ送りまたは早戻し(巻き戻し)]

① **録画**： このボタンを押すと録画を開始します。録画の開始と停止を切り替えることができます。

② **逆コマ送り**： このボタンは一時停止状態から逆コマ送りするために使用されます。

③ **早戻し**： このボタンは再生モード時には巻き戻しとして使用されます。

3. **メニュー・ボタン**

1) ▥/⊠ メニューおよびキャンセル/ステータス

① **メニュー**： 通常はメイン・メニューに入ります。

② **キャンセル/ステータス**：メニュー内の場合、メニューを抜けます。

2) ↵/⊞ 決定／画面分割

① **決定**： メニュー内では、変更した設定を保存します。

② **画面分割** ： ライブまたは再生モードではカメラを分割表示にします。

4. ⊞ ⊟ **ボタン**

これらのボタンはデータ入力や選択など多くの機能を持っています。 それらはパスワードの入力を促されたときの数字データの入力、カメラのチャンネル選択、予約オプション時の日時選択などにも使用します。

※ 数値の上げ下げに使用しますが、リモコンの数字ボタンの利用が便利です。

5. リモコン受信部

リモコンから受信部が見える必要があるので、受信部を塞がないでください。

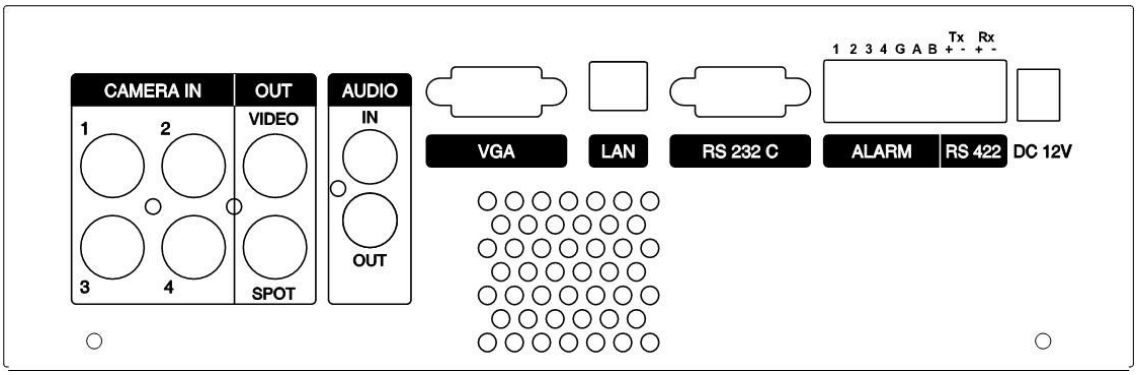
6. 電源ボタン ： ⏻

電源をON OFFします。 POWER LED(緑)が電源が入っているときに点灯します。
(電源を切るにはパスワードが必要です)

7. SATA (オプション) ： 録画時間を延長するために使用します。(予定機能)

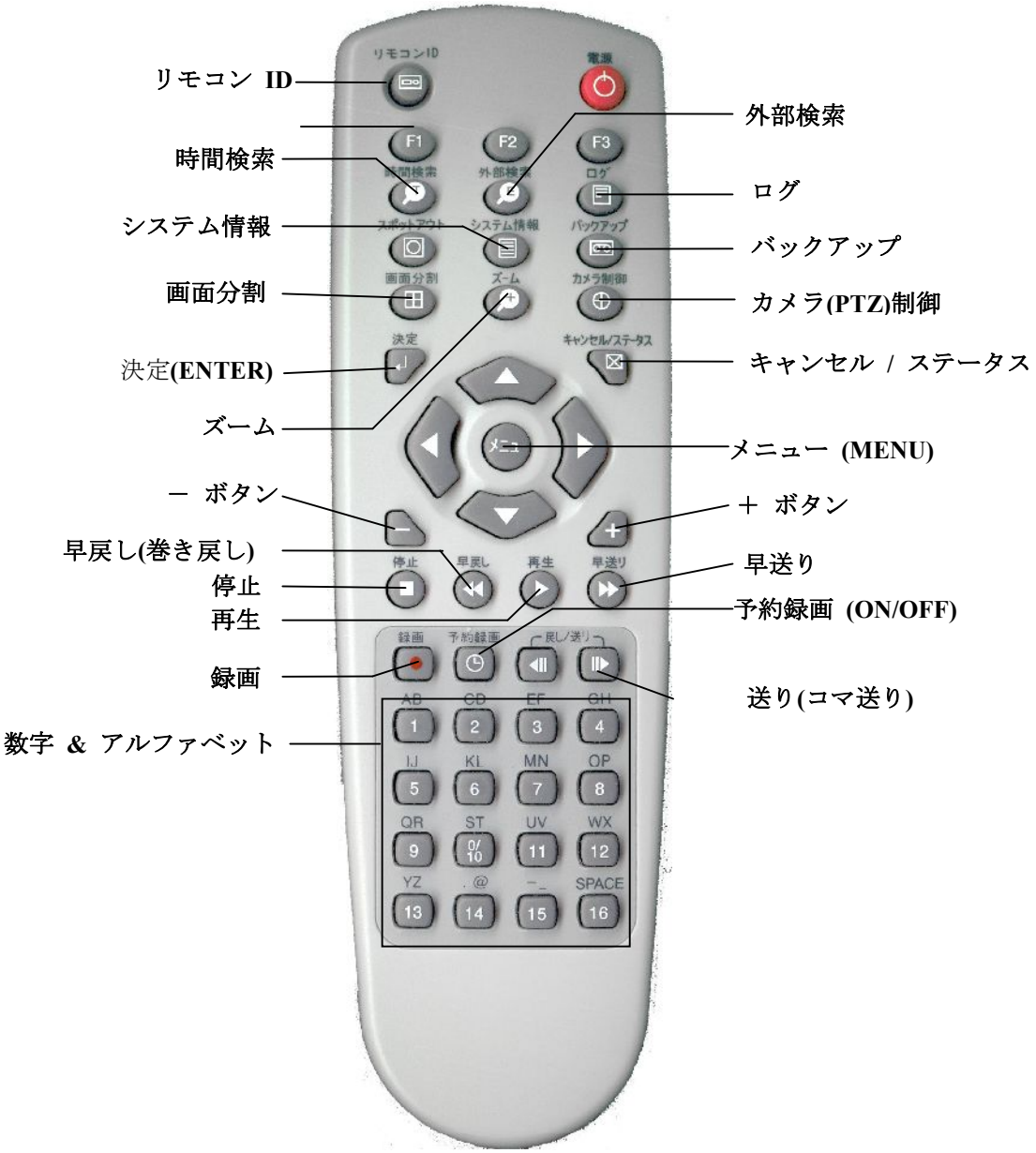
8. **USB接続** ⇜ ： USB互換ポートはUSBメモリーを利用して、ビデオファイルをバックアップする場合と、DVRのファームウェアのアップデートサービスに使用します。

2. 背面パネルのコネクタ



1) **CAMERA IN :** カメラ入力コネクタ（BNCコネクタ）
2) **VIDEO OUT :** 映像出力コネクタ (BNCコネクタ)
3) **SPOT OUT :** スポット映像出力コネクタ(BNCコネクタ)は、2台目のモニタを接続します。
4) **AUDIO IN / AUDIO OUT :** 音声入力 / 音声出力コネクタ(RCAピン・コネクタ・ラインレベル)
5) **VGA :** PCモニタ用コネクタ(D-Sub15Pコネクタ)
6) **LAN :** Ethernet経由のPCによる遠隔監視および、E-mail送信用(RJ45コネクタ)
7) **RS-232C :** 工場での開発用です、お客様のご利用は出来ません。
8) **ALARM IN / OUT :** アラーム入力 / アラーム・リレー出力用
9) **RS-422 :** PTZカメラ制御接続用
10) **DC 12V :** 付属のACアダプタを接続します

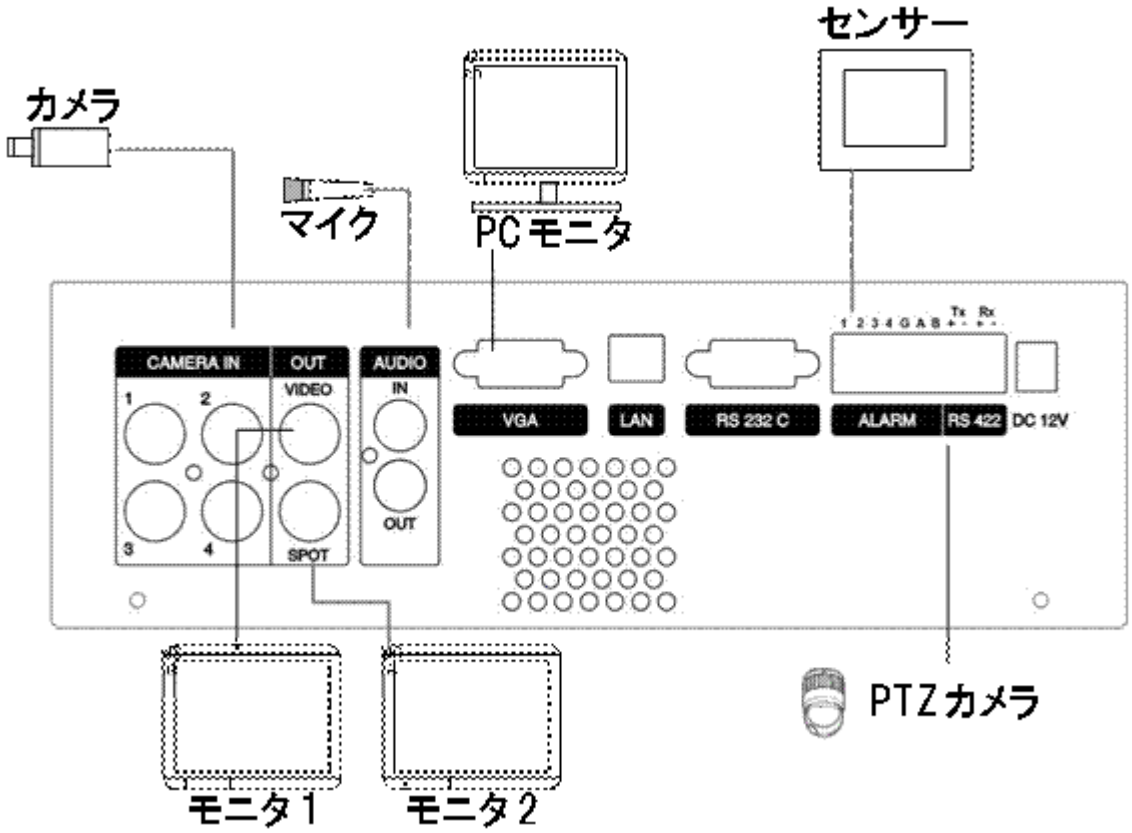
3. リモート・コントローラ



<注意> 本機では「外部検索」機能はサポートしておりません。

II. 設置 & 接続

1. カメラ、 モニタ、 マイク、 アラーム・センサーおよび電源コード



＜4ch機の例＞

* RS-422 接続

1) TX + - ： PTZ カメラ接続用
2) RX + - ： 未使用(予定機能)

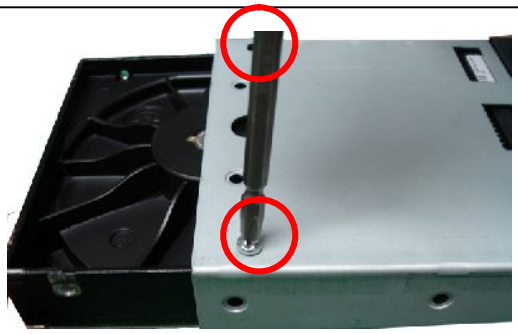
2. HDD 接続

HDDがHDDラック・ベイにしっかりと接続されていることを確かめてください。

<接続端子>

① HDDラック・ベイにHDDをしっかり接続します。

② HDDラック・ベイをひっくり返して、最初にコネクタを接続します。正しく接続されているか、下の穴から確認してください。



③ 付属の短いネジ(銀色)でHDDをしっかり固定してください。 HDDの底の方からネジを締めます。HDDは2本のネジで固定していることを確認してください。

④ 付属の長いネジ(黒色)でラックをしっかり固定します。2本のネジで固定していることを確認してください。

※ 通電中にHDDを交換しないでください。

3. ネットワーク接続用PCのシステム条件

(a) 500MHz のCPU
(b) 128MBのRAM
(c) 4MB のビデオ・カード
(d) Windows 98SE, 2000, ME, XP
(e) 10/100-BaseT Ethernetポート
(f) RJ-45ネットワーク・ケーブル
通常はストレートケーブルを使用しますが、DVRとPCを直接接続する場合は、クロス・ケーブルが必要になる場合があります。

<おことわり>
DVRの接続と遠隔監視はPCのインターネット接続設定にも依存します、接続がうまくいかない場合は、それらも確認しましょう。
更なるサポートが必要な場合はテクニカル・サポートにご連絡ください。
また、本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

III.クイック・スタート・ページ

ニユットに初期設定されたパスワードは 「000000」です。

CMSソフトウェア起動用の初期パスワードは「0」です。

日時設定

初めてDVRの電源を入れたとき、日時の初期設定は2006年1月1日、日曜日、01：00：00にセットされます。DVRをご使用になる前に、日時を設定することが重要です。42ページのDVRの日時設定を参照してください。

IV.ライブ監視

1. 表示概要

1. (1) (2) (3)

(1) アラーム・センサーによって、アラーム入力端子がトリガされたことを示します。キャンセル/ステータス ボタンを押すと消えます。

(2) モーション検出を示します。キャンセル/ステータス ボタンを押すと消えます。

(3) 録画中のビデオ・ロス(映像信号の中断)を示します。キャンセル/ステータス ボタンを押すと消えます。

2. (1) (2) (3) (4) (5)

(1) 内臓CD R/Wが接続されていることを示します。バックアップ中は青色に変化します。

(2) 前面パネルにUSB機器が接続されていることを示します。バックアップ中は青色に変化します。

(3) 予約録画モードON状態になっていることを意味します。予約録画が開始されると、青色に変化します。

(4) 再生中、選択された時間に**音声**データが含まれていることを青色で示します。

(5) ネットワーク接続されている**クライアント数**を表示します。
（最大同時接続数:3・同時遠隔再生数:2）

3.

： 日時を表示します。

4.

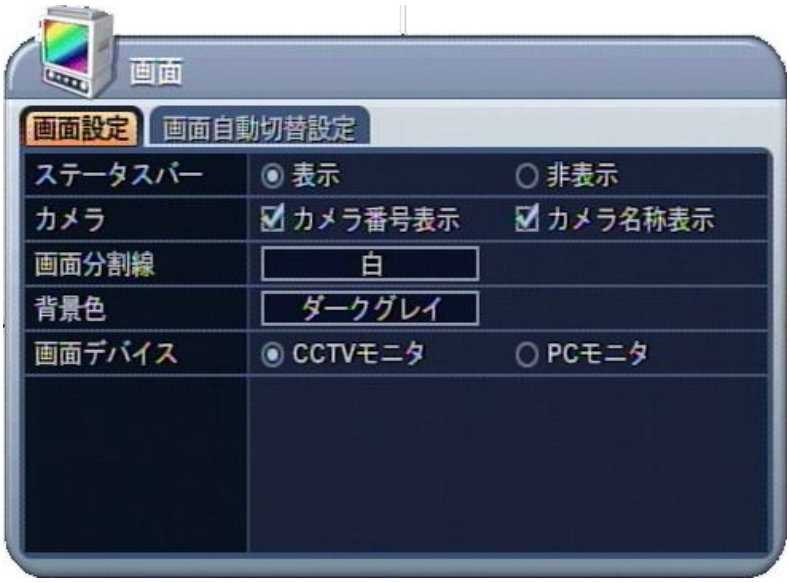
： 利用可能なHDD容量および残りの推定録画時間を表示します。そして、HDDの残量が4GB以下になると、「リサイクリング」アイコンが表示されます。

2. 分割画面表示および画面自動切替

2.1 1画面表示

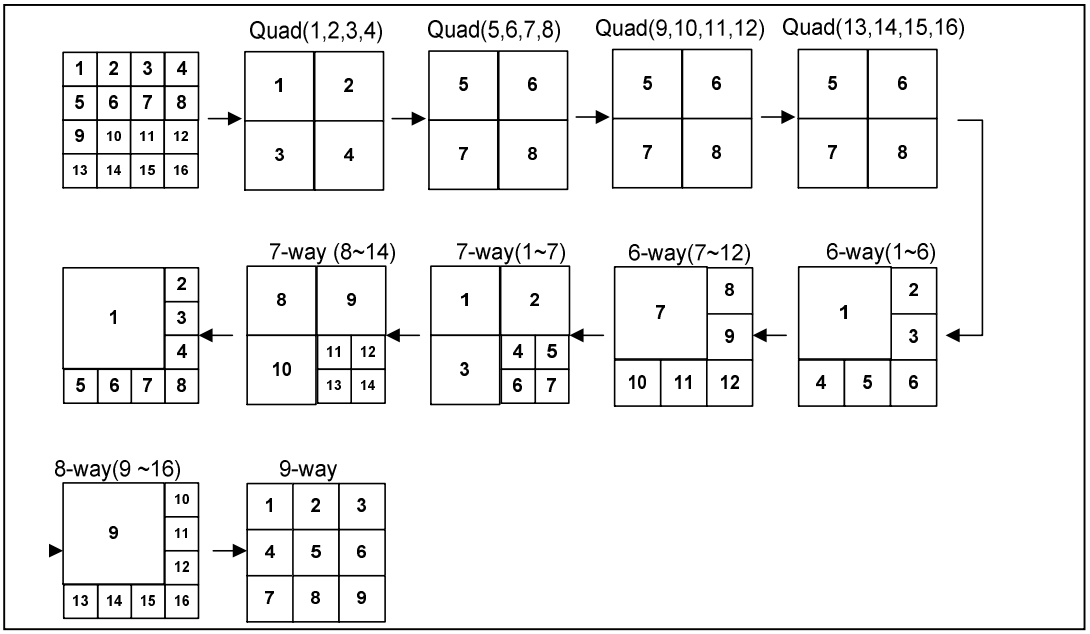
ライブまたは再生中に、1画面をアップで全画面表示したい場合は、リモコンで希望するカメラ番号に対応する数字ボタンを押します。

2.2 分割画面表示および画面自動切替表示



画面分割 ボタンを押すと分割画面表示になります。分割モードでは以下に示すような順序で分割方法を選択できます。画面分割 ボタンを1秒間長押すと、全画面による自動切替が始まります。自動切替モードおよび画面切替時間は、プログラム可能です。これらの設定に関する詳細については、「画面自動切替設定」を見てください。

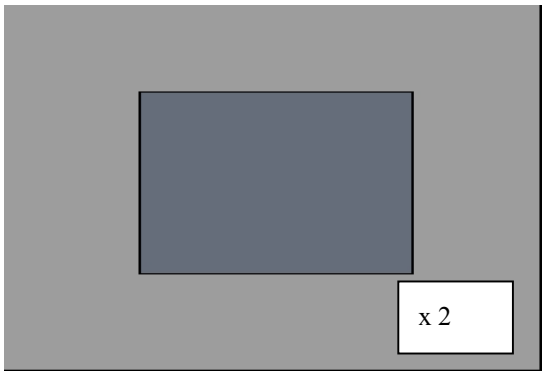
<注意>初期設定の状態では、画面自動切換は働きません、故障とお間違えにならないようご注意ください。
<注意>次ページの4分割を超える図は、8チャンネル16チャンネル機のための機能です。従いまして、4チャンネル機での分割方式は4分割のみになります。

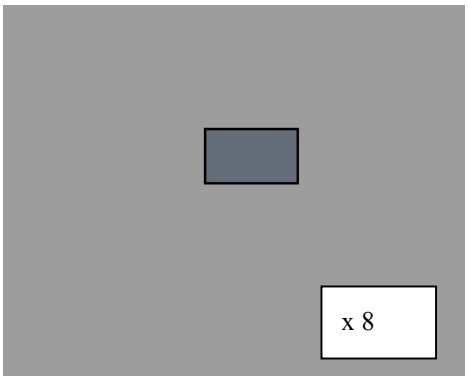


3. ズーム機能

ライブモードまたは再生中に、画面の見たい部分を拡大して見ることができます。

1. デジタル・ズームを働かせるには、拡大したいカメラの映像を1画面表示にします。
2. リモコンの [ズーム] ボタンを押します。以下のようなズーム・エリア・ボックスが表示されます。





3. 方向ボタン [▲] [▼] [◀] [▶] を使ってボックスを希望の位置に動かします。
4. [＋] ボタンを押すとズーム・イン [－] ボタンを押すとズーム・アウトします。
5. [キャンセル/ステータス] ボタンを押すと通常モードに戻ります。

<注意>
分割画面の状態で [ズーム] ボタンを押した場合には、ズーム機能は働きません。

4. スポット・モニタ

本機に、メイン・モニタとは別に、スポット・モニタを接続すると、メイン・モニタから独立した特定のチャンネルだけをモニタすることができます。

- リモコンの スポットアウト ボタンを押し、次に全画面で見たいチャンネルの番号のボタンを押します。
- スポットアウト を2回続けて押すと、カメラは自動切替になります。画面切替時間は、画面自動切替設定でセットすることができます。
- アラームが発生したときには、その特定のチャンネルが1画面表示になります。

V. メインメニューの操作

1. メイン・メニューの概要

DVRの電源を入れると、約30秒間の初期化の後、ライブ監視画面が現れます。メニュー ボタンを押すと、「管理者パスワード」ボックスが現れます。パスワードの入力にはリモコンの数字ボタンまたは、本体前面パネルの＋ － ボタンを使います。パスワードの初期設定は「**000000**」です。適切なパスワードが入力された後、下図のメイン・メニューが現れます。

<注意> 工場で初期設定された管理者パスワードは[000000]です。DVRを設置する際には、お客様独自のパスワードに変更されることをお勧めします。参照→[システム設定]

1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って希望のメニューを選びます。メニューで選択された項目は、カラーで示されます。
2. 決定 ボタンを押すと、メニューを選択およびサブ・メニューを表示します。左右ボタン ◀ ▶ の使用でタブ・メニューを選択します。選択された項目は**オレンジ**色に変化します。

※ タブ・メニュー間を移動した場合、自動的に変更が保存されます。

3. 決定 を押すと、変更を保存してメニューを抜けます。
   キャンセル/ステータス を押すと、変更を保存せずにメニューを抜けます。

2. 画面

2.1. 画面設定

1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って「画面」を選択します。次に 決定 ボタンを押すと、「画面設定」が表示されます。
2. 左右ボタン ◀ ▶ を使用して、タブ・メニューを選択します。選択されている項目は[オレンジ]色に変化します。 画面設定 画面自動切替設定
3. 項目を指定するには、ダウン ▼ ボタンを使います。
4. ＋ － ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
ステータス・バー	● メイン・モニタ下部のステータス・バーの表示・非表示を選択します。
カメラ	● カメラ番号とタイトルのためのオンスクリーン表示情報の選択。
画面分割線	● カメラ映像間の分割線を選択します。 **[白 → グレイ → ダーク グレイ → 黒]**
背景色	● 映像信号がない状態の背景色を選択します。 **[グレイ → ダーク グレイ → 黒 → 青 → 白]**
画面デバイス	● • オンスクリーン表示のモニタ上での表示位置を選択します。 - CCTV モニタ： 画面の外枠より少し内側に表示。 - PC モニタ： 画面の外枠に合わせて表示。

5. 変更を保存してメニューを抜けるには、決定 ボタンを押します。
   変更を保存せずにメニューを抜けるには、キャンセル/ステータス ボタンを押します。

2.2. 画面自動切替設定

項目	初期値	調整
画面切替時間	5 秒	● 画面を自動的に切替える時間を指定します。値の変更には ＋ ー ボタンを使用します。(1～30 秒)
切替モード	なし	● 希望する切替モードを選択します。
1画面表示	全て	● 各カメラを自動切替に含めるか除外するかを選択します。

3. カメラ

1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って「カメラ」メニューを選択します。次に 決定 ボタンを押すと、「カメラ」メニューが表示されます。
2. 左右ボタン ◀ ▶ または数字ボタンを使って設定変更したいカメラの番号を選びます。
3. ダウン ▼ ボタンを使って指定したい項目に移動します。
4. ＋ ー ボタンを使って値を変更します。

項目	初期値	調整
非表示	No	● 非表示モードが「YES」の場合、全てのライブ表示、再生およびネットワークから選択されたカメラを見ることはできません。非表示のカメラは「NO」に変更したあと表示可能です。(非表示中でも遠隔監視および録画は可能です)
輝度	50%	● ＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラの輝度を調整します。
コントラスト	50%	● ＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラのコントラストを調整します。
カラー	50%	● ＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラの色の濃さを調整します。
カメラ名称	CAMERA # (#はカメラ番号です。)	● それぞれのカメラにアルファベットと数字で半角12文字までの名称をつけることができます。カメラ名称の入力には数字ボタンを使用します。数字ボタンと文字の関係は下表を参照してください。CMSソフトを使用すると、全角9文字までの漢字も利用可能です。
P/T/Z モデル	None	● 制御しようとするP/TZカメラの機種を選択します。
P/T/Z ID	カメラ番号	● PTZカメラに割り当てられたチャンネルを選択します。カメラIDはカメラ・アドレスを意味します。

5. 変更を保存するには、決定 ボタンを押します。
   変更を保存せずに抜けるには、キャンセル/ステータス ボタンを押します。

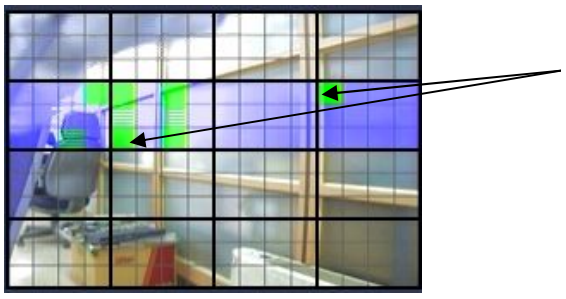
<リモコンからの文字入力>

No	1回押し	2回押し	3回押し	No	1回押し	2回押し	3回押し
1	A	B	1	9	Q	R	9
2	C	D	2	10/0	S	T	10
3	E	F	3	11	U	V	11
4	G	H	4	12	W	X	
5	I	J	5	13	Y	Z	
6	K	L	6	14	.	@	
7	M	N	7	15	-	_	
8	O	P	8	16	SPACE		

4. モーション

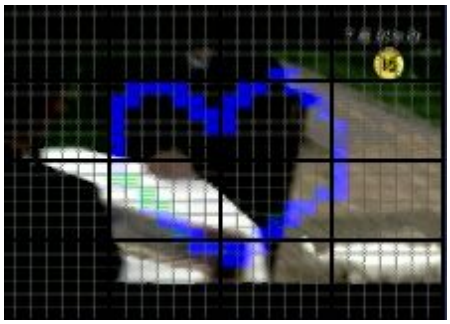
方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使ってモーション・メニューを選択します。次に決定ボタンを押すと「モーション」メニューが表示されます。

1. 左右ボタン ◀ ▶ または数字ボタンを使って設定変更したいカメラを選択します。
2. 方向 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを使って指定の設定したい項目を選択します。
3. ＋ － ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
録画時間	● モーションが検出されたときに、検出されなくなってからの録画時間を決定します。 (10～300秒：10秒ステップで全チャンネル共通)
カメラ選択	● 左右ボタン ◀ ▶ または数字ボタンを使って設定変更したいカメラを選択します。
感度設定	● 数字が大きくなるほど敏感になります。（1：低感度 ～ 20：高感度）
エリア設定	● このメニューを使ってモーションを検出する画面上の範囲を設定します。下の画面のように、現在のビデオ映像に重ねて表示されます。 ● これは、格子状に16個に分割され、リモコンの数字ボタンで選択します。 ● ： 全て選択 ● ： 全て解除 ● モーションが検出された位置は緑色に変化します。  ● フロント・パネルの ＋ ボタンを使って検出範囲選択状態にします。走る

人のアイコン が表示されます。[+] ボタンを使って選択と解除、[−] ボタンでこの状態から抜けます。

- また、CMSを使用すると、より的確に細かな範囲設定を行うことができます。



4. 変更を保存してメニューを抜けるには、[決定] ボタンを押します。次に、「録画」メニューに行きます。
5. 下図のようにカメラ毎のモーション検出の有効または無効を「ON」または「OFF」で選択します。

6. [録画] ボタンを押すと、モーション検出時に、設定された画質とフレーム・レートに従ってモーション録画が開始されます。モーション録画時間が過ぎると、録画を一時停止し、待機状態に戻ります。待機状態のカメラは録画されません。

<注意> モーション録画中に再度モーションを検出した場合には、録画を延長します。

<注意> モーション検出機能は、映像信号の状態や他の原因によって正しく動作しない場合があります。

<注意> より確実なモーション録画のために、少なくとも3箇所のモーション・エリアを選択されることをお勧めします。

5. 録画

DVRは、工場出荷時に、ある程度基本的な設定がされています。そのためDVRを設置して 録画 ボタンを押すだけで、すぐに録画が可能です。初期設定では、音声、アラーム、モーション録画は OFF になっています。

1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ で「録画」メニューを選択します。次に 決定 ボタンを押すと「録画」メニューが表示されます。
2. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って、設定変更したいカメラを選択します。
3. ＋ － ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
使用	● カメラ毎の録画の有効・無効を切り替えます。
画質	● カメラ毎の録画画質を指定します。 ULTRA → SUPER → **HIGH** → MIDDLE →LOW
レート	● カメラ毎の録画スピードを選択します。 FRAME・FIELDおよびCIFモードの録画サイズに関しては参照→システム
音声	● 録音の ON OFFを選択します。 リアル・タイムを含む様々なモードで記録できる映像データとは異なり、音声データは常にリアル・タイムで記録されます。 映像に対して音声は、わずかに遅れる場合があります。
モーション	● モーション録画の ON または OFF を選択します。動きを検出しない状態のカメラは録画されません。これは、モーション録画のページで説明されます。

<注意> 行の各項目で メニュー ボタンを押すと、残り全てのチャンネルに、この行の設定が適用されます。

4. 変更を保存してメニューを抜けるには、決定 ボタンを押します。
5. 録画 ボタンを押しすと、フロント・パネルの赤いLEDが点灯し、録画が開始されます。
6. 録画を停止するには、リモコンの 停止 ボタンを押すか、フロント・パネルの ◀ ボタンを再度押します。

<注意> 推定録画時間は、被写体の動き、画質およびキャプチャー・レート、そして画面サイズによって様々に変化し、10秒毎に更新されます。

< ファイル・サイズの目安>

画質	720×480	720×240	360×240	単位
LOW	6.5	4	2.5	KB/枚
MIDDLE	9	5.5	3.5	KB/枚
HIGH	13	8	5	KB/枚
SUPER	19	12	7.5	KB/枚
ULTRA	30	19	12	KB/枚

※ これは理論的な計算値です、そのため、実際の映像信号や、その他の条件に依存して、値が異なる場合があります。

6. アラーム録画

アラーム録画を始める前に、アラーム設定を確認してください。「アラーム」の設定は「録画」設定から、独立しています。また、アラーム録画は、アラーム録画を有効にしなければ開始されませんので注意してください。

6.1. 録画設定

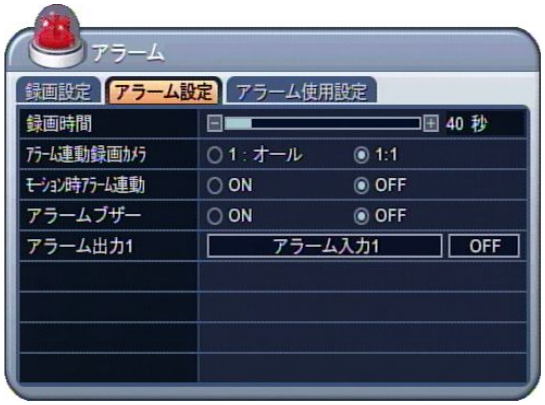
1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って「アラーム」メニューを選択します。次に 決定 ボタンを押すと「アラーム」メニュー内に入ります。
2. 左右ボタンで ◀ ▶ タブ・メニューを選択します。(録画設定 アラーム設定).
3. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って設定変更したいカメラを選択します。
4. ＋ － ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
使用	● カメラ毎のアラーム録画の有効・無効
画質	● アラーム録画するカメラ毎の録画画質指定 ULTRA → SUPER → **HIGH** → MIDDLE → LOW
レート	● アラームが起きたときのカメラ毎の録画スピードを選択します。
音声	● 音声録音の選択： ON または OFF.
入力	● アラーム入力機器の指定（NO または NC）

各行の各項目で メニュー ボタンを押すと、他のチャンネルに、その項目の値がコピーされます。

5. 変更を保存してメニューを抜けるには、決定 ボタンを押します。
   変更せずにメニューを抜けるには、キャンセル/ステータス ボタンを押します。

6.2. アラーム設定



項目	調整
録画時間	● アラーム信号が有効になったあと、無効になってから録画を継続する時間を決定します。[10～300秒]
アラーム連動 録画カメラ	● **ALL：** 任意のアラーム信号が発生した場合、アラーム「ON」の全てのチャンネルの録画を開始します。 ● **1：1：** アラームが発生したチャンネルの録画を開始します。
モーション時 アラーム連動	● 「ON」が選択されている場合、モーションをアラームとして扱います。 - ログにはモーションとして記録されます。 - E-mail送信は行われません。
アラームブザー	● **ON：** アラームが発生した場合にブザーを鳴らします。ブザーは録画時間の間、鳴り続けます。このブザーはアラーム出力と連動します。アラーム・ブザーを鳴らすにはアラーム出力を「ON」に設定してください。 ● **OFF：** アラーム・ブザー機能を無効にします。 **<注意>** [一] ボタンを押すと、すぐにブザーが止まります。ブザーを止めてもアラーム録画は止まりません。
アラーム出力1～2 (アラーム出力を2系統装備しているのは16チャンネル機のみです。)	● 各カメラのアラームが発生したとき、どのリレーを動作させるかを設定します。4つの利用可能なオプションから選択します。 ビデオ・ロス、モーション、アラーム全て、各アラーム、システム **<注意>** 「システム」が選択されている場合、HDD故障やファン・ロック等のようなシステムの問題の時にリレーが動作します。 ● [キャンセル/ステータス] ボタンを押すと、アラーム出力を停止します。 クリアする順序： アラーム>モーション> ビデオ・ロス

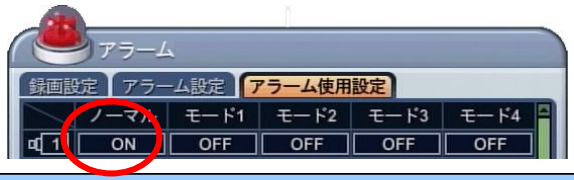
変更を保存してメニューを抜けるには、[決定] ボタンを押します。

「アラーム使用設定」をした後、録画 ボタンを押します。次に、フロント・パネルの赤いLEDが点灯し、録画が開始されます。

6.3. アラーム使用設定

アラーム録画の方法を選択します。モード1～4は予約録画モード1～4を意味します。

<例 1>



録画		アラーム		結果として生じる動作
ノーマル	モーション	使用	ノーマル	
OFF	OFF	ON	ON	録画ボタンを押すと、アラームが起きたときに、設定に従って、録画画質(SUPER)、フレーム・レート(15F/S)、そして録音有効の条件でアラーム録画を開始します。「録画時間」が終わった後、待機モードに戻ります。カメラが通常の条件では録画しません。

<例 2>

録画		アラーム		結果として生じる動作
ノーマル	モーション	使用	ノーマル	
ON	OFF	ON	ON	録画ボタンを押すと、音声なしで3F/Sの画質「HIGH」でノーマル録画が開始され、このチャンネルでアラームが鳥がされると、音声有の15F/Sの画質「SUPER」に変更されます。アラーム録画持続時間が終わると、ノーマル録画に戻ります。

<例 3>

録画		アラーム		結果として生じる動作
ノーマル	モーション	使用	ノーマル	
ON	ON	ON	ON	録画 ボタンを押すと、モーションを検出したときに音声なしの3F/Sの画質「HIGH」でモーション録画が開始されます。このチャンネルでアラームがトリガされたとき、音声ありで15F/Sの画質「SUPER」での録画に変更されます。アラーム録画持続時間が終わった後、アラームまたはモーションのための待機に戻ります。通常の状態では録画されません。

7. 予約録画

スケジュール・チャートは、定義された録画モードをグラフ表現で表示します。モード1～4のスケジュールが設定された場合に限ってスケジュールが表示されます。

1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ で「予約」メニューを選択します。次に、決定 ボタンを押すと、「スケジュール・チャート」が表示されます。
2. 左右ボタン ◀ ▶ を使ってタブ・メニューを選択します。
(予約録画設定 モード1 モード2 モード3 モード4).
3. ダウン・ボタン ▼ を使って設定変更したい日を選択します。

曜日毎に8つのカテゴリに分類されています。毎日、日、月、火、水、木、金、土。

4. 設定したいカテゴリで 決定 ボタンを押します。下に示したように、選択された曜日の詳細メニューがポップ・アップされます。

5. 開始と終了の時刻を入力し、それから録画モードを選択します。

(1) 開始： 録画をスタートする時刻

(2) 終了： 録画を終える時刻。終了時刻を開始時刻より前や、同じ時刻にならないようにします。終了時刻は開始時刻より後にしてください。

(3) モード： 予約録画用に使用する録画モード選択します。(モード1～4)

6. 以下モードの定義

※参照→ノーマル録画設定

<注意>

- 録画時刻は24時制でセットします。(00：00 - 23：59).日付を超える場合は2日分設定します。

曜日	開始	終了	モード
月	18：00	23：59	モード 1
火	00：00	08：59	モード 1

- 終了時刻が開始時刻より前の場合は、録画は開始されません。

例)

曜日	開始	終了	モード
月	18：00	08：59	モード 1

7. 設定の後、予約録画を有効にするために、予約録画 ボタンを押します。予約インジケータが点灯します。プログラムが現在時刻と重なっている場合、録画インジケータが点灯し、ユニットは録画を開始します。録画予約のスケジュールがない場合には、録画されないので注意してください。

8. 予約録画時間が終わると、録画インジケータが消灯し、録画は停止します。

9. 予約録画中に録画を停止したい場合、予約録画 ボタンを押します、予約インジケータが消灯して予約録画モードが解除されます。

組み合わせの概要

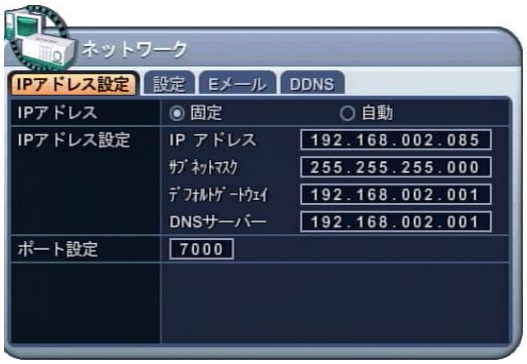
録画モード	メニュー	録画		アラーム			予約
		カメラ使用	モーション	使用	ノーマル	モード1~4	モード1~4カメラ使用
ノーマル	録画	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
モーション	録画	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
アラーム	アラーム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
予約	予約	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
モーション・予約	予約	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON
ノーマル・アラーム	録画 & アラーム	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF
モーション・アラーム	録画 & アラーム	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF
予約・アラーム	アラーム & 予約	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON

8. ネットワーク設定

お客様がインターネット接続契約で固定IP契約をしている場合には、契約期間中は一定のIPアドレスを利用可能です、動的IPアドレスでのご契約の場合には、モデムを接続する度または、ある一定の時間毎にIPアドレスが変化します。多くのインターネット・サービス・プロバイダが、両方のサービスを提供しています。

8.1. IPアドレス設定

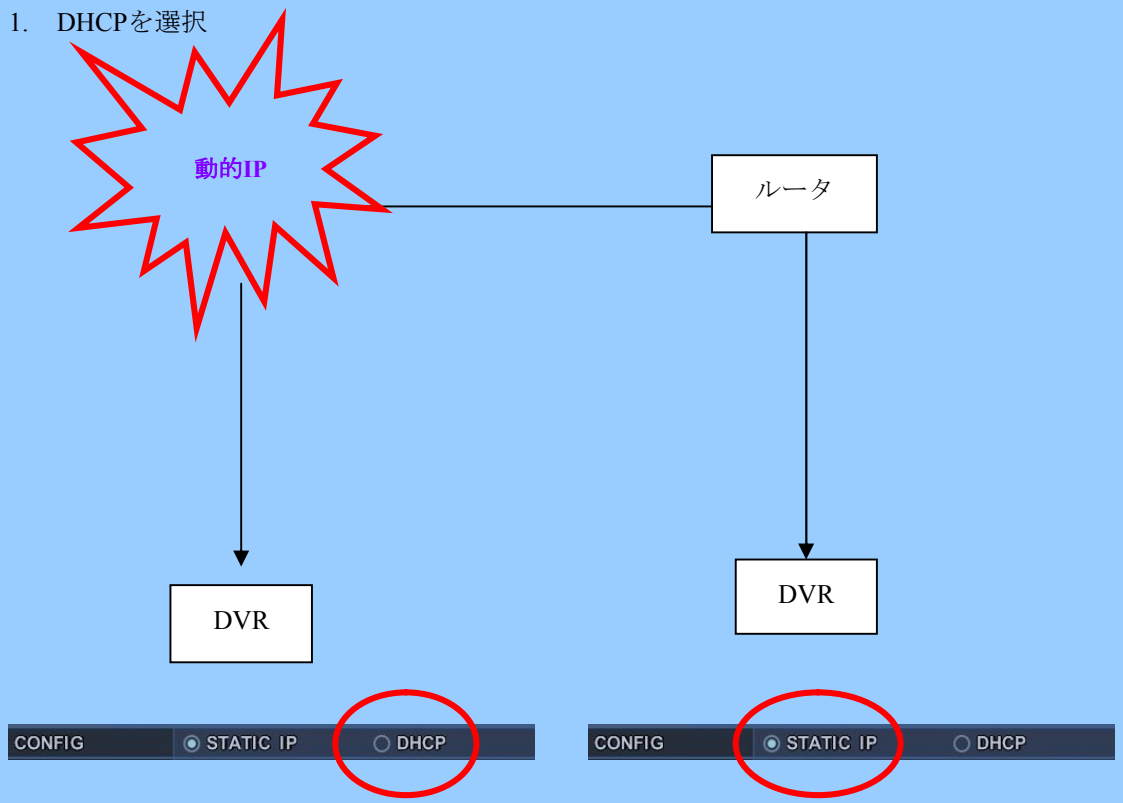
1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使ってネットワークメニューを選択します。それから 決定 ボタンを押すと「ネットワーク」が表示されます。
2. ダウン・ボタン ▼ を使って詳細を指定します。
3. ＋ － ボタンを使って値を変更します。
4. 変更を保存し、メニューを抜けるには、決定 ボタンを押します。
   変更せずにメニューを抜けるには、キャンセル/ステータス ボタンを押します。



項目	調整
IPアドレス	● 固定： IPアドレス、ゲートウェイおよびサブネットマスクを指定 ● 自動： DHCPサーバがからIPアドレスを取得する場合に設定します。 インターネットに接続されたLAN環境では、ルータにMACアドレスを登録して特定の端末にポート転送できる機能がある場合を除いて、設定しないでください。 ホスト名はDVR毎に固有で、「L10020E」のように表示されます。
IPアドレス設定	● 「IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク」を編集します。
ポート設定	● 「0000」～「9999」を選択します。 ● 初期設定されたポート「7000」が塞がれている場合にDVRの接続ポートを変更することができます。通常は「7000」でご使用ください。

<注意> DHCPの場合にネットワーク経由でDVRを接続するには。

1. DHCPを選択



2. システム・メニューの「ホスト名」を確認してください。
3. WebブラウザまたはCMSでDNS名を入力<例： http：//L10020E.**dvrhost.com：7000**>

8.2. 設定

ネットワーク設定の「設定」タブでは、DVRのトラフィック(使用帯域幅)とネットワーク・セキュリティに関する設定を行います。

項目	調整
使用帯域幅	• 初期設定は「無制限」です。「64 Kbps~ 8Mbps」から選択
PINGブロック	• 他ノードからのPING要求に、応答しません。初期設定は「OFF」
スキャンブロック	• CMSからのオート・スキャンに応答しません。初期設定は「OFF」

8.3. Eメール

DVRはイベントが起きたときに、5箇所までの指定されたEメールアドレスにE-mail送信できます。アラームと画像ファイル、ビデオ・ロス、停電(停電が復旧したとき)、HDD故障。

eメール送信の2種類の方法; 「固有」または「お客様自身や一般のメールサーバ」の使用

項目		調整
使用	OFF	• E-mail通知のON OFFを設定します。初期設定はOFFです。
	Default	• メール・サーバを選択。「Default」はメーカーによりサポートされています。 お客様でSMTPサーバの設定は不要です。
	SMTP	• メール・サーバの選択。SMTPのセットアップは以下のSMTPメニューから行います。
SMTP	サーバ名	• SMTPサーバを反転表示で選択し、そして次に数字ボタンを押してE-mailサーバを設定します。
	ポート番号	• SMTPサーバとの通信に使用するポートを設定します。
	ユーザー認証	• 認証のON OFFを選択します。初期設定は OFF です。
	ユーザー名	• メール・サーバが認証を必要とする場合、メール・サーバのユーザーIDを入力します。 (大文字で表示されますが小文字として認識されます)
	ユーザー・パスワード	• メール・サーバが認証を必要とする場合、パスワードを入力します。 (小文字として認識されます。大文字非対応)
Eメールアドレス		• 通知を送りたいEメールアドレスを入力します。

8.4. DDNS

DVRが動的IPアドレスの契約でインターネットに接続されている場合、外部のCMSから接続しようとしても、接続先のIPアドレスを特定することができません。そのような条件下で予め決められた名前（ホスト名とドメイン名の組み合わせ）で、DVRのIPアドレスを特定し、接続を可能にするしくみがDDNSです。

項目	調整
使用	• OFF： DDNS機能を使用しません。 • DEFAULT：初期設定された「dvrhost.com」ドメインを使用します。 例えば、DVRのホスト名(システム情報を参照)が「L50AD25」の場合、DVRのDDNSアドレスは以下のようになります。 DVR Playerの場合：IP L50AD25.DVRHOST.COM Internet Explorerの場合：http://l50ad25.dvrhost.com:7000/ ホスト名の確認方法→リモコンの システム情報 ボタン • DYNDNS： 米国「dyndns.com」のDDNSサービスを利用する場合に使用します。(※dyndns.comは事前に利用登録(英語)が必要です)
DOMAIN NAME	「DYNDNS」または、自身のドメインを使用する場合にドメイン名を入力します。
ユーザーID	DDNS用のユーザーIDを入力します。
パスワード	DDNS用のユーザー・パスワードを入力します。
UPDATE TEST	DDNSアドレスのテスト用

<注意> DDNS設定は、工場出荷時「OFF」に設定されていますので、本機を動的グローバルIPアドレス環境で使用される場合には、DDNS設定を忘れないようにしてください。

<注意> 本機を業務用として使用されるなど、ネットワークの高い接続信頼性を必要とされる場合には、ご契約のインターネットサービスプロバイダと、「固定IPアドレス」契約をして、CMSでDVRのIPアドレスを直接指定するようにしてください。

9. システム設定

9.1. 設定

1. 方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ を使って「システム」メニューを選択します。次に 決定 ボタンを押します。
2. 左右ボタン ◀ ▶ を使ってタブ・メニューを選択します。
   (設定 日時設定 ユーザー設定 ディスク 情報).
3. ダウン・ボタン ▼ を使って詳細を指定します。
4. ＋ － ボタンを使って値を変更します。
5. 変更を保存してメニューを抜けるには、決定 を押します。
   変更せずにメニューを抜けるには、キャンセル/ステータス ボタンを押します。

項目	調整
リモコンID	• お客様が同じ部屋で複数のDVRをご使用の場合、このIDを個別に設定することで、複数のDVRを個別のリモコンで操作することができます。本体のリモコンIDとリモコンのリモコンIDが合っている場合にだけ、リモコン操作ができます。 • リモコン側のリモコンIDは、リモコンの リモコンID ボタンを押しながら、2桁の数字を入力して変更します。 • 任意のリモコンIDのDVRを同時に制御するには、リモコンのリモコンIDを「00」にセットします。
自動キーロック	• スクリーンセーバーのように、操作をしなくなった3分後、DVRの全てのボタンをロックします。ボタンのロックはユーザー・パスワードで解除できます。初期設定は「OFF」です。
キー操作音	• DVRはボタン操作時にビープ音を発するように初期設定されています。キー操作音を止めたいときには「OFF」にセットします。
コントローラ	• ジョイスティック・コントローラおよびボーレートを選択します。 (予定機能)
RECORD LIMIT	• 録画映像の最長保存期間を設定します。HDDの残り容量に余裕がある場合でも、この期間を超えた映像は削除されます。
録画サイズ	• **C I F** ： 各カメラの録画解像度を 360×240 に設定します。 • **Field** ： 各カメラの録画解像度を720×240に設定します。 • **Frame** ： 各カメラの録画解像度を720×480に設定します。
再生時映像補正	• **ON**： 映像のちらつきを軽減しますが、画質が低下します。 • **OFF:** 静止画では良い画質が得られますが、動きがあると、ちらつきます。 ※ この機能は、一般的な映像技術用語で「インタレース解除」と呼ばれます。関連する文献をお調べになる場合の参考にしてください。
RUN ON BOOT	• **NORMAL REC**： このチェック・ボックスがチェックされている場合、装置を起動すると、自動的にノーマル録画が開始されます。 • **SCHEDULE REC**：このチェック・ボックスがチェックされている場合、装置を起動すると、自動的に予約録画が開始されます。
パスワード	• **OFF:** 「電源OFF」「録画停止」「予約録画停止」以外では、パスワード・ウィンドウが表示されなくなります。 (初期設定：ON)

9.2. 日時設定

項目	調整
時刻同期	複数のDVRがネットワーク経由で設置されている場合、一台のDVRまたはPCをマスター・クロックとして設定できます。本機は、他機の日付と時刻を全て制御します。 • ON： スレイブ・クロックとしてセットされます。 • OFF(初期設定)： マスター・クロックまたは時刻同期を使用しまれ PCに「DVR TimeSynclnstller.exe 」をインストールすると、自動的にスタートします。DVRは時刻同期用にWindowsの「UDP 4014ポート」を通して通信します。(※ NTPとは互換性がありません。)
時刻サーバ	• 時刻同期メニューで「ON」に設定した場合にマスター・クロックDVRまたはPCのIPアドレスを入力します。
日付および時刻	• 日付と時刻を入力します。

9.3. ユーザー設定

管理者は、それぞれのユーザーの権限を設定することができます。ユーザー1～5を選択し、「使用」オプションの「ON」か「OFF」で選択します。「ON」のときは、「権限」の設定が個々にチェック可能です。権限の種類には、「モニタリング」「再生」「バックアップ」「設定(メイン・メニュー)」「ネットワーク」「シャットダウン（電源OFF）」がありますが、「モニタリング」のチェックを外すことはできません。

「新しいパスワード」欄には、6桁の数字を入力します、次に同じパスワードを「再入力」欄に再入力し 決定 ボタンを押し、両者の番号が一致するとパスワード変更が有効になります。番号が入力されるとアスタリスク(＊)は自動的に進みます。

9.4. ディスク

項目	調整
フォーマット	1. ディスクフォーマットの前に録画や再生を完全に止め、LANケーブルも抜きます。 2. ＋ － ボタンを使ってフォーマットする機器を変更します。 「内臓HDD」「内臓ドライブ – CD/DVD-RW」 「USB (前面) – メモリスティック」 3. ダウン ▼ ボタンを使って START ボタンに移動し、＋ － ボタンを押すと、フォーマットを開始します。 4. フォーマットが始まり、進行状況はウィンドウ下部に表示されます。HDDのフォーマットには10～30秒かかります。 5. フォーマットが終了すると、「完了」と表示されます、ウィンドウ下部には「成功」と表示されます。
内臓HDD	内蔵ハード・ディスク・ドライブの録画方法を選択します。初期設定では、ハード・ディスク・ドライブがいっぱいになると古いデータに上書きして、録画を継続します。 • 上書き録画： ハード・ディスクがいっぱいのとき、内臓HDDの最も古いファイルから順にデータを上書きして、録画を継続します。 • 上書きなし： HDDがいっぱいになった後は録画を停止します。
HDD状態監視	HDD故障が起きると自動的にモニタリングを中止します。DVR再起動後は、モニタリングを開始します。(開始と停止には ＋ － ボタンを使用します。)

9.5. システム情報

リモコンの システム情報 ボタンを押すと、システム情報が表示されます。他のタブへの移動は拒否されます。このメニューは下表のような情報を提供します。

表示	状態
モデル	• チャンネル数と圧縮方式の表示。
ホスト名	• ホスト名及びMACアドレスの表示。
言語	• オンスクリーン表示言語の表示。
ネットワーク	• 現在のIPアドレスとポート番号の表示。
ボード・バージョン	• メイン基板バージョンの表示。
FPGAバージョン	• FPGAバージョンの表示。
BIOSバージョン	• Biosバージョンの表示。
LINUXバージョン	• Linuxバージョンの表示。
APPバージョン	• アプリケーション・バージョンの表示。
内臓HDD	• HDDの数と合計の容量を表示。
内臓ドライブ	• ラックにどのような機器が取り付けられているかの表示。 ：DVD・CD/ HDD
USB (前面)	• どのような機器が前面のUSBコネクタに接続されているかの表示。
IDE BUS 0	• Primary HDD 状態を表示します。A ： Master, B ： N/A <注意> HDDがS.M.A.R.T機能をサポートする場合に表示されます。 「警告」と表示される場合には新しいHDDに交換してください。 「エラー」は物理的に破損したHDDを意味します。
IDE BUS 1	• Secondary CD/DVD 状態の表示。C ： N/A D ： CD/DVD <注意> 内臓CDドライブのジャンパ設定は初期設定でSlaveです。

VI. カメラ制御

ご注意： 弊社では平成20年8月現在、P/T/Z制御可能なカメラの輸入事業を行っておりません。従いまして、この機能に関して、弊社では動作検証等は、一切行っておりませんので、代理店・販売店・お客様等の自己責任においてご利用いただきますようお願い致します。

1. カメラ制御メニュー

1. P/T/Z制御を有効にするには、制御したいカメラの1画面表示を選択します。
2. 次に**カメラ制御**ボタンを押します。下図のようにショートカット・メニュー・ボックスが表示されます。

<注意 > 特定の制御に関しては参照→ヘルプ・メニュー

ボタン	機能
 決定ボタン	● このボタンを押すと 「ヘルプ」 メニューが表示されます。 決定 ボタンをもう一度押すとヘルプ・メニューを取り消すことができます。
 キャンセル/ステータスボタン	● このボタンを押すとカメラ制御の操作を中止します。

 メニュー ボタン	● P/T/Zカメラ制御インターフェースの、全機能を使用可能にする拡張メニューに切り替えます。もう一度このボタンを押すと、元の簡易なメニューに戻ります。
	● チルト・上下移動の制御 ● パン・左右移動の制御
	● ズームイン・ズームアウトの制御

カメラ制御インターフェースの表示位置は、DVR前面またはリモコンのボタン位置と合っています。カメラ制御インターフェース・モードのときは、全てのボタンがカメラ制御関係の操作のために使用されます。

**** P/T/Z制御カメラご使用の前に以下の項目をご確認ください。**

1. RS 232/485 接続、カメラのジャンパ設定他

2. 本機の「カメラ」メニューの「P/T/Z ID」および「P/T/Zモデル」の設定。

2. プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置設定：リモコンの スポット アウト カメラを希望の場所に動かします。 プリセット設定 ボタンを押します。 「カスタム 1」 が点灯します。 プリセット位置のために#をセットします。 決定 を押すと保存して抜けます。
	プリセット選択： リモコンの システム情報 ボタン プリセット選択ボタンを押します。 希望するプリセット#を入力し 決定 を押します。

	オート・ツアー開始：リモコンの バックアップ ボタン オート・ツアー ボタンを押します。 ＋ ボタンを押し、プリセットの範囲を入力し、決定 を押します。 例えば、オート・ツアー ボタン+5 は PTZ カメラのプリセット 1～5 のツアーを開始します。

3. カスタム機能

ボタン	機能
	PTZカスタム機能 1; リモコンの 画面分割 ボタン
	PTZカスタム機能 2; リモコンの ズーム ボタン
	PTZカスタム機能 3; リモコンの カメラ制御 ボタン

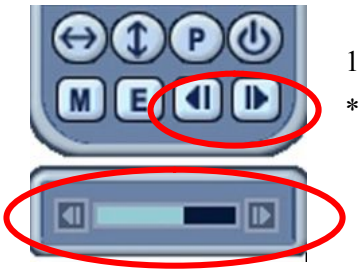
適切なジャンパ設定のために、P/T/Z制御カメラのメーカーのマニュアルを参照し、DVRとのプロトコルを合わせてください。

4. P/T/Zカメラ・モデル ― パン/チルト/ズーム カメラ リスト

#	P/T/Z モデル	3X	P/T 速度	機能 設定	方向 指示	ﾂｱｰ	A. Pan	A.Tilt	Pat	Me	Esc/ Enter
1	NUVICO, NV 9600 BPS	o	o	o	o	o			o	o	o
2	MERIT LILIN, PIH-7000/7600	o	o	o	o	o	o			o	o
3	VCL, Orbiter Microsphere		o	o	o	o					
4	SAMSUNG, SCC-641		o	o	o	o	o			o	o
5	NEC, NC-21D		o	o	o	o					
6	SUNKWANG, SK2107		o	o	o	o	o				
7	RESERVED		o	o	o	o	o				
8	D-MAX, PTZ PROTOCOL		o	o	o	o	o	o			
9	LG, LPT-A100L P/T/Z						o				
10	HONEYWELL, GCC-655N										
11	WONWOO, PT-101						o				
12~14	PELCO, D 2400~9600	o	o	o	o	o	o		o	o	

15	C&B TECH, AN200			o	o	o					
16	CANON, VC-C4			o	o	o					
17~19	PELCO, P 2400~9600	o	o	o	o	o	o		o	o	
20~22	PELCO, EP 2400~9600		o	o	o	o					
23	PANASONIC, WV-CS/W85x,86x		o	o	o	o				o	o
24	HONEYWELL, HSDN-251N/P		o	o	o	o					
25	GE/KALATEL, CyberDome		o	o	o	o	o				
26	DY ELEC, SmartDome		o	o	o	o	o				
27	BOSCH, TC8560/TC700		o	o	o	o					
28	SYSMANIA, ORX1000										
29	AD, DELTADOME		o	o	o	o			o		
30	HUNT, HTZ-2300		o	o	o	o	o	o			
31	HAZEM, RESERVED			o	o	o	o				
32	RVT, EZ Protocol	o	o	o	o	o			o	o	o
33	LG, MULTIX		o	o	o	o			o		
34	ELMO, PTC-200C/400C		o	o	o	o					
35	NICECAM, MP-1xxx		o	o	o	o					
36	C&B TECH, CNB-PTZ102			o	o	o	o	o			

<注意> スピードのステップは 0~8



1 (低速) ～ 8 (高速)

* 0 – スピード は長く押すほど大きく変化します。

VII.検索・再生

1.時間検索

1. 再生を始めるには、 時間検索 ボタンを押し、下図の時間検索カレンダー・メニューが表示されます。

2. 左右ボタン ◀ ▶ を使って年月 2008 / 06 を変更・選択します。

> **<注意>** 前後の月にデータが保存されていない場合、年月を変更することはできません。
> **<注意>** データの種類による色分け：アラーム(赤) ＞ モーション(緑) ＞ ノーマル(黄)

3. カレンダー上では方向ボタン ▲ ▼ ◀ ▶ で日付を選択します。DVRに保存された録画映像の選択されたデータはグラフ状の表現で表示されます。
4. 再生したい「時・分」や「カメラ」を選択します。次に 決定 ボタンを押します。

> **<注意>選択方法と画面表示の関係**
> 分　　：　分割画面表示
> カメラ　：　１画面表示

5. 再生を開始するには 決定 ボタンを押します。

2.ログ・リスト検索、アラーム・モーション検索

ログは、録画時点のデータを直接検索および見返すために使うことができます。アラーム、モーション、ビデオ・ロスおよびシステム関係のログを直接検索および発生時刻からの再生ができます。

1. イベント検索を始めるには、リモコンの ログ ボタンを押すと、下図のようにログ・リスト・メニューのポップアップが表示されます。

メニュー・タブ	状態
オール	• 初めてDVRの電源を入れてからの全てのログ
システム	• ネットワーク、アラーム、モーション、ビデオ・ロス以外の全てのイベント
ネットワーク	• ネットワーク・アクセスのリスト
アラーム	• アラームのリスト
モーション	• モーションのリスト
ビデオ・ロス	• ビデオ・ロスのリスト

2. 上下ボタン ▲ ▼ で再生したい「時間」へ。左右ボタン ◀ ▶ で次のページへ移動できます。
3. 決定 ボタンを押すと、再生を開始します。

<注意> ログ・リストはHDDに保存されます。
<注意> ログを外部に保存するには、前面のUSBポートにUSBメモリーを接続し、それぞれの分類で メニュー ボタンを押すと、ログ・データがバックアップされます。

VIII.バックアップ

1. 内臓CD-RW/DVD-R/W

本機は利便性のため、簡単にバックアップができるCD-RW/DVD-RWを内蔵しています。さらに、バックアップされたCDは、バックアップ・データはパソコンのCD-RW/DVD-RWから読むことができます。

1. 内臓CDに空のメディアを入れます。

<注意>

バックアップ前にCD-RW/DVD-RWディスクがフォーマットされているかご確認ください。

ディスク・フォーマット参照→「システム」→「ディスク」

(1) リモコンの バックアップ ボタンを押すと、「バックアップ」メニューが表示されます。パスワード入力画面が表示された場合には、パスワードを入力してください。

2. ＋ － ボタンを使って機器を選択： 内臓ドライブ – CD/DVD-RW
3. バックアップするデータを選択します。
   (1) ノーマル： ノーマル録画データ
   (2) アラーム： アラーム録画データ
   (3) モーション： モーション録画データ
   バックアップCDに含める録画データの種類を選択します。上のイラストでは全てのカメラ、ノーマル、アラームおよびモーションデータが選択されています。
4. 時刻は24時制で入力し、次に スタート ボタンに移動します。
5. 決定 ボタンを押すと、バックアップが開始されます。
   ※ バックアップ中はCDインジケータが青色に変化します。

内臓ドライブ – CD/DVD-RW

バックアップの進捗はウィンドウの下部に全体のパーセンテージで表示されます。バックアップ中のオンスクリーン表示は CD-RWアイコンの色が青色に変化します。キャンセルス/テータス ボタンによって表示されます。しかし、バックアップ ボタンを再度押すと、バックアップ状態が表示されます。DVRがバックアップ中の場合は、再生をしないでください。

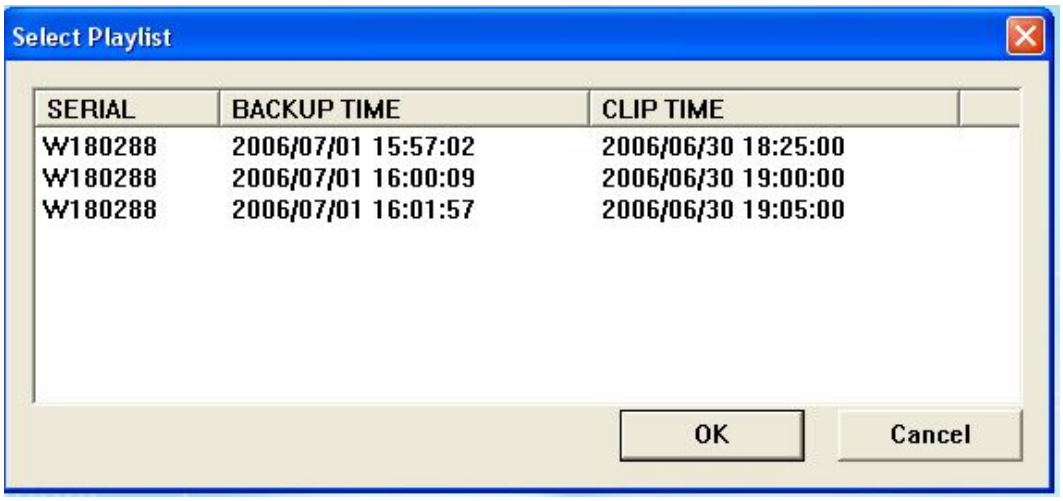
6. 終了すると、CDアイコンはグレーに戻ります。

- メディアに十分な容量がない場合、それがいっぱいになったときに自動的にディスクを排出し、それから新しいメディアがドライブに挿入されるとプロセスを再開します。

<注意> バックアップ中は録画を停止してください。

* CDをPCのドライブに入れると、CD再生ソフトウェアは自動的に実行されます。ソフトウェアをインストールする必要はありません。

<注意> バックアップ機器を読み取るには、CMSソフトのローカル再生機能を参照してください。
<注意>バックアップデータが分割されている場合、再生リストがポップアップされます。



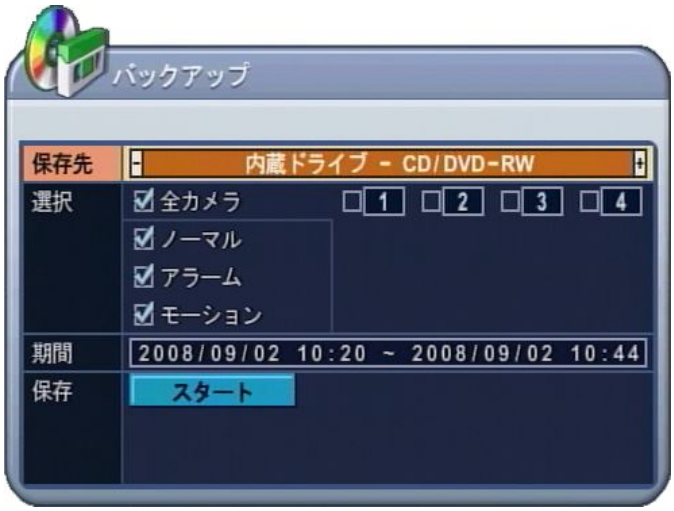
2. 外部USBメモリー

外部ドライブの手順は内臓CD-RWの場合と同じです。

3. バックアップ範囲設定

バックアップ範囲は、バックアップメニューに入る前に時間検索メニューで設定可能です。[月、日、時、分] [−] ボタンを押すとバックアップ開始時刻をセット、[+] ボタンを押すと終了をセット。選択された時間は明るい灰色に変化します。

15：05～15：15の選択されたバックアップ時間がバックアップ範囲に表示されています。
この状態で一旦ライブ画面に戻ってから、[バックアップ] ボタンを押します。



時間検索で選択したバックアップ範囲が「期間」の項目に反映されます。

Ⅸ.クライアント・プログラム

中央監視ソフトウェア(CMS)

1. インストレーション

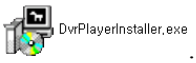
1.1. PCの必要なシステム条件

	最低条件	推薦
OS	Windows 98SE, 2000, ME, XP	Windows XP
CPU	Pentium II Celeron 333	Pentium　2.8 G
RAM	128MB	512MB
ビデオ・カード	4MB	16MB
HDD空容量	20MB	2 GB
解像度	1024×768	1024×768
その他	Direct X 6.0以上	Direct X 8.0以上
		オーバーレイYUY2サポート

PCが、最低のシステム条件を満たさない場合、CMSソフトウェアが正常に動作しないことがあります。CMSと関連する全てのプログラムは、シングル・タスク環境でテストされています。そのため複数のタスクが同時に実行されている場合、予期しないエラーが発生することがあります。さらに、PCに不適切なコーデックがインストールされている場合、プログラムが誤作動することがあります。
特に複数のDVRをモニタリングする場合には、PCやネットワークの性能に十分余裕を持たせるようにしてください。

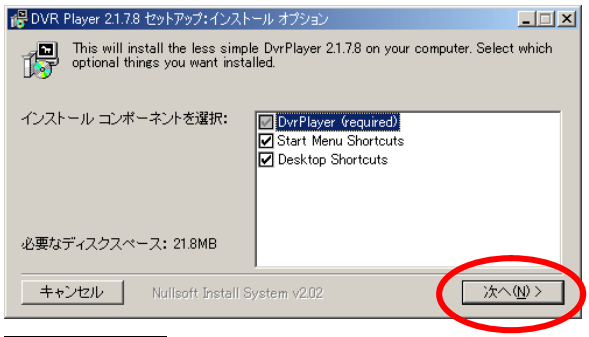
DirectX 6.0以下のバージョンがインストールされている場合、CMSは実行できません。Microsoftから、最新の**Direct X**をダウンロードしてください。

1.2. インストールするには

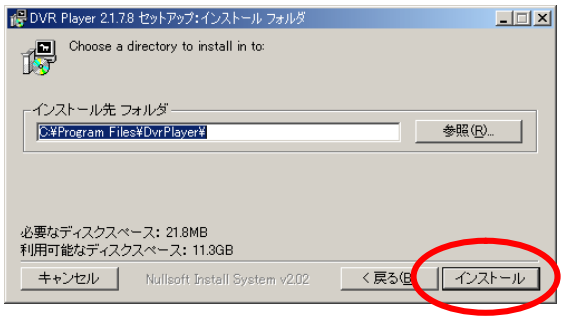
(1) PCのCD-ROMドライブに「Client Install CD」を挿入し、「DvrPlayerinstaller.exe」を見つけてダブル・クリックします。 

.

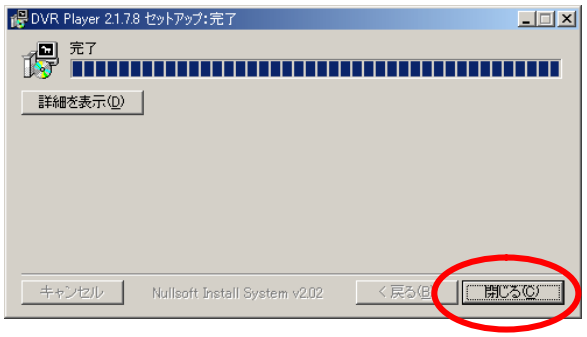
(2) 下図の 次へ(N) ボタンをクリック



(3) インストール をクリックします。必要な場合はディレクトリを指定してから インストール をクリックします。



(4) 下の画像が現れた後、閉じる(C) ボタンをクリックします。



(5) インストールが完了すると、デスクトップにCMSのアイコン

が表示されます。

(6) CMSを起動するには、アイコン

をダブル・クリックし、パスワードを入力します。

※初期設定のパスワードは半角「0」です。パスワード変更は参照→CMS設定この画面を抜けて終了するには、キーボードの ESC ボタンを押します。

2. 特長

2.1. CMS概要

2.2. 機能

(1) 分割画面の選択

a. 1画面表示

b. 4画面表示

c. 6 画面表示

d. 8画面表示

e. 8画面表示

f. 9画面表示

g. 10画面表示

h. 16画面表示

i. 25画面表示

j. 36画面表示

k. 49画面表示

l. 64画面表示

(2) 日時表示

ライブモードではPCの現在時刻を、再生モードでは再生時刻を表示します。

(3) ライブ/再生モード切替

a.

このボタンを押すとライブモードへ切り替わる

b.

このボタンを押すと再生・ダウンロードモードへ切り替わる。

(4) クイック・ボタン

a.

現在のライブ映像をパソコンに動画で録画します。遠隔録画中は 録画 ボタンの色がシアン(水色)に変化します。

(保存先の初期設定： C：¥Program Files¥DvrPlayer¥Download)

b.

現在モニタリング中の画像を静止画で保存または印刷します。

c.

オンスクリーン表示の ON・OFF ボタン。

d.

CMS設定ウィンドウに入ります。

CMS設定

① 一般1

a) OSD設定

時刻、DVR名、カメラ番号、カメラ名、各カメラのフレーム・レートのような、オンスクリーン表示情報の表示と非表示を選択します。

b) オーバーレイ (初期設定：ON)

パソコン内での映像の転送効率をアップするために、オーバーレイの使用を推薦します。不適切なビデオ・ドライバがインストールされている等の理由で、映像が乱れる場合は、オーバーレイ機能のチェックを外してください。それでも画面の異常が改善しない場合は、Windowsのハードウェア アクセラレータの設定を下げてください。

c) 映像信号方式

日本国内では通常は、「NTSC」を選択します。

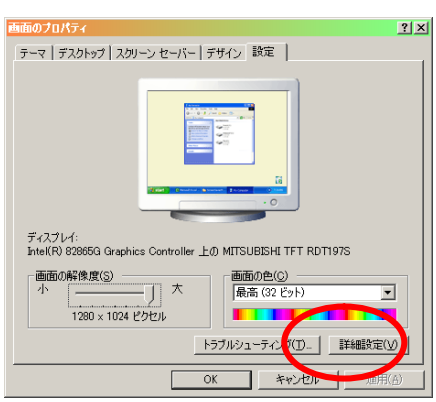
d) ダウンロード

ダウンロード・ファイルの保存先フォルダを指定します。

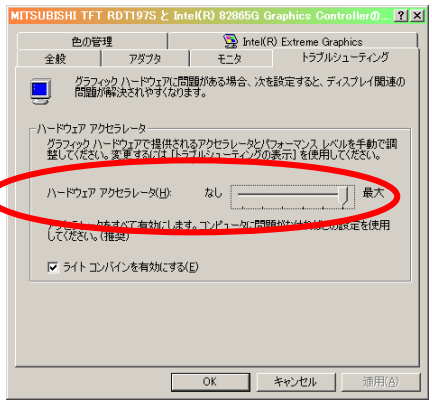
<参考資料> ハードウェア・アクセラレータのコントロール

※ PCの「画面のプロパティ」の 詳細設定(V) ボタンをクリックします。

※ 「トラブルシューティング」を選択し、ハードウェア・アクセラレータを下げます。



→



② 一般2

a) POS画面表示を1000件に制限する
POS項目検索を最大1000件に制限します。

b) Log画面表示を1000件に制限する
ログ表示を最大1000件に制限します。

c) [Watermark]チェック
電子透かし用のチェック・ボックスです。
(本機では未対応)

d) Auto Full Screen for Alarm Event
アラーム・イベント発生時に1画面表示にします。

e) USE AUDIO
DVRからの音声を再生するか、しないかを選択します。

③ パスワード

パスワード変更

a) 現在のパスワード ： 現在のパスワードを入力します。(初期設定は「0」)

b) 新しいパスワード ： 新しいパスワードを入力します。

c) 再　　入　　力 ： 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

d) 適用 ボタンを押すとパスワードが変更されます。 (OK ボタンではありません)

<注意> このパスワードはCMSの起動を制限するものです。DVRのパスワードではありません。

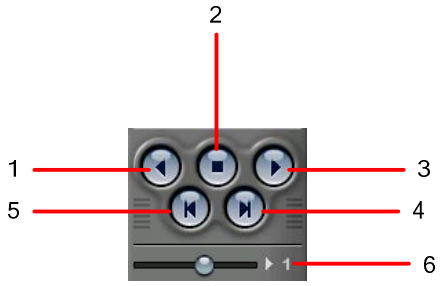
④ 音声

CMS用の音声警告設定です。イベントの種類毎の音声警告の有効・無効を切り替えます。

- 接　　続： DVR が接続されたとき CMS は音を出します。
- 切　　断： DVR が切断されたとき CMS は音を出します。
- ア ラ ー ム： DVR でアラームがトリガされたとき CMS は音を出します。
- モーション： DVR がモーションを検出したとき CMS は音を出します。
- ビデオ・ロス： ビデオ・ロスのとき CMS は音を出します。

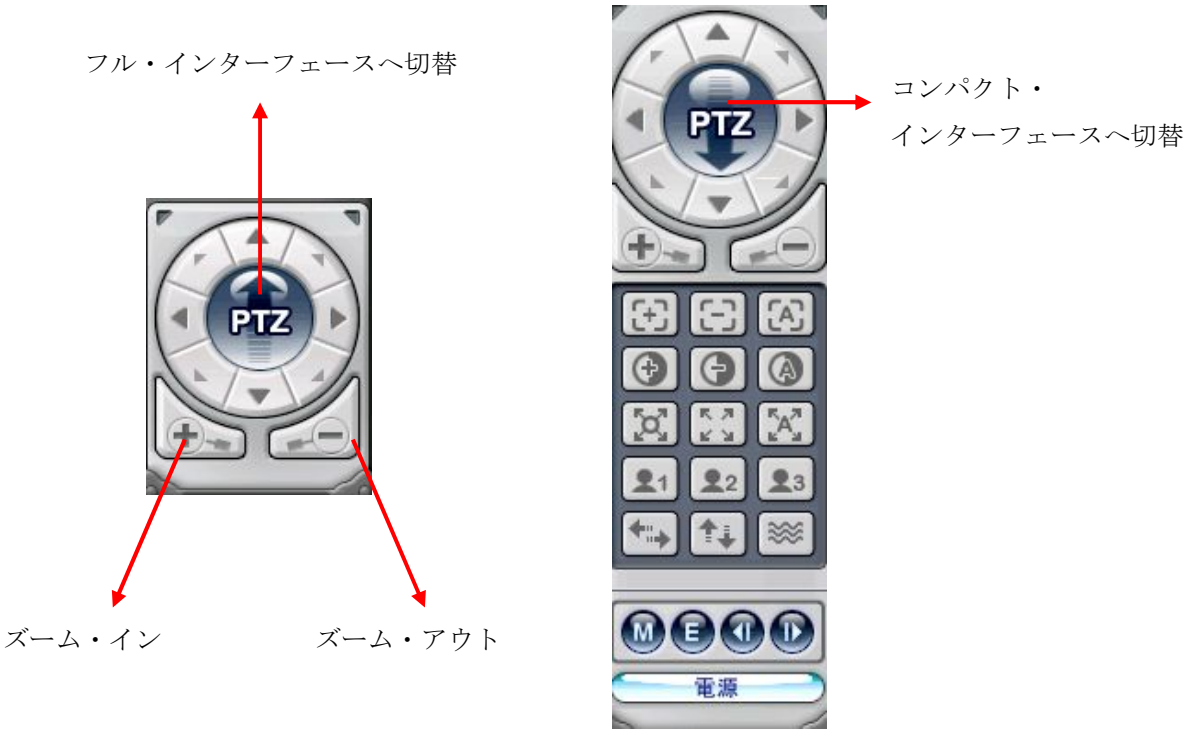
(5) 再生コントロール・ボタン

※これらのボタンは、ダウンロードされたファイルの再生時のみ機能します。



1. 逆再生を始めるには、逆再生ボタンを押します。
2. 再生を停止するには、停止ボタンを押します。
3. 再生を始めるには、再生ボタンを押します。
4. 現在見ているフィールドの後のフィールドを見る。(コマ送り)
5. 現在見ているフィールドの前のフィールドを見る。(コマ戻し)
6. ローカルDVRモードで再生スピードをコントロールします。

(6) パン/チルト・コントロール・ボタン



複数のP/T/ZカメラがDVRに接続されている場合、それらを個々に選択して、PTZコントロール・ボックスを使って制御できます。特定チャンネルのP/T/Zカメラを制御するには、P/T

/Zカメラが接続されたチャンネルをクリックして1画面表示にします。

a. パンおよびチルト

表示	結果として生じる動作	表示	結果として生じる動作
	上方向(チルト)		下方向(チルト)
	左方向(パン)		右方向(パン)
	左上方向		右上方向
	左下方向		右下方向

b. フォーカス

表示	結果として生じる動作
	遠
	近
	自動

c. アイリス

表示	結果として生じる動作
	絞りを開く
	絞りを閉じる
	自動絞り

d. ツアー

表示	結果として生じる動作
	クリックでツアーを設定します。合計のアドレスは接続されたP/T/Zカメラに依存します。
	プリセットを呼び出します。
	オート・ツアーを開始します。

e. 特殊機能キー

P/T/Zカメラの各種機能

f. オート・パン

表示	結果として生じる動作
	オート・パンの左側の限界をセットします。
	オート・パンの右側の限界をセットします。
	オート・パン機能を実行します。

g. オート・チルト

表示	結果として生じる動作
	オート・チルトの上側の限界をセットします。
	オート・チルトの下側の限界をセットします。
	オート・チルト機能を実行します。
	P/T/Zカメラを指定した順序で動かす操作を実行します。

h. パン/チルト電源

パン・チルトのスタンバイまたは、P/T/Zカメラのライトの ON OFF。

(7)　動作状態表示

問題またはイベントの発生したDVR、最新5台分のDVR名を表示します。色は、DVRからのレポートに応じて変化します。

a.　赤

赤は、DVRの重要な機能の中断や故障の場合： 接続失敗、接続タイム・アウト、停電、ファン・ロック、システム故障、HDD故障、停電復旧、ファン・ロック復旧、システム故障復旧、HDD故障復旧

b.　黄

黄は録画またはアラーム関係のイベント発生： ビデオ・ロス、ビデオ・ロス復旧、アラーム検出、モーション検出、録画停止、予約OFF、バックアップ動作停止

c.　青

青はDVRが正常に機能している場合です。
DVR名が表示される場合：録画開始、バックアップ動作開始、予約ON

(8)　動作状態レポート

「動作状態レポート」メニューは、接続された全てのDVRの状態の概要をすぐにユーザーに提供します。最大300台のDVRに関する故障、イベント、録画モードなどのような、状態を確認することが出来ます。

動作状態レポートは、動作状態 をダブル・クリックすると、いつでもアクセスできます。詳細なログ・リストは動作状態レポートの「NO」列または「NAME」列の欄をダブル・クリ

ックすると表示することができます。

欄の色	状態
赤継続	過去にイベントまたは問題が発生したことを示します。
赤点滅	現在発生中のイベント、または問題を意味します。
黄継続	DVRの現在の状態。

<注意>ネットワーク接続エラーまたは停電の場合、各DVRの「NO」と「NAME」の項目が赤点滅します。

a. HDD FAIL： 動作中のHDD故障を知らせます。

b. FAN LOCK

   a) SYS. FAN： DVR側面にあるファンの異常を示します。

   b) CPU FAN： CPUにあるファンの異常を示します。

c. EVENT

   a) AL： アラーム

   b) MO： モーション

   c) VL： ビデオ・ロス

d. OVER TEMP. **(本機では、ご利用になれません)**

   a) SYS： DVR温度チェック

   b) CPU： CPU温度チェック

e. REC. OFF ： DVRの REC LEDのON OFFを示します。

f. SCHE. OFF： DVRの 予約録画のON/OFF状態を示します。

g. BACKUP OFF： DVRのバックアップ状態を意味します。

(9) DVRの登録情報

DVRのプロパティは「NO」列のまたは「NAME」列のブロックをダブル・クリックすると、見ることができます。

このメニューは、下に記載されたような情報を提供します。

a. DVRモデル　本機に関する情報を表示します。
b. システム時刻：　DVRの内蔵時計の日時を表示します。
c. 録画：　現在のノーマル録画チャンネルを表示します。
d. アラーム：　現在のアラーム録画チャンネルを表示します。
e. モーション：　現在のモーション録画チャンネルを表示します。
f. 映像入力なし：　現在映像信号が中断中(ビデオロス)のチャンネルを表示します。
g. HDDサイズ：　利用可能なHDD残容量/ HDD全容量
h. ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ･ﾌｧｲﾙ･ｻｲｽﾞ：　利用可能なUSB HDD残容量/USB HDD全容量
i. 録画可能時間：　推定残り録画時間
j. HDD：　これは、ハード・ディスクの異常を示します。
k. システム・ファン：　ファンの検出を示します。**(本機では未対応)**

(10) CMSログ・リスト

このメニューはCMSが動作中の間のCMSログを提供します。さらに、それぞれのDVRの特定の情報はDVRログ・リストを参照してください。

(11) DVRログ・リスト

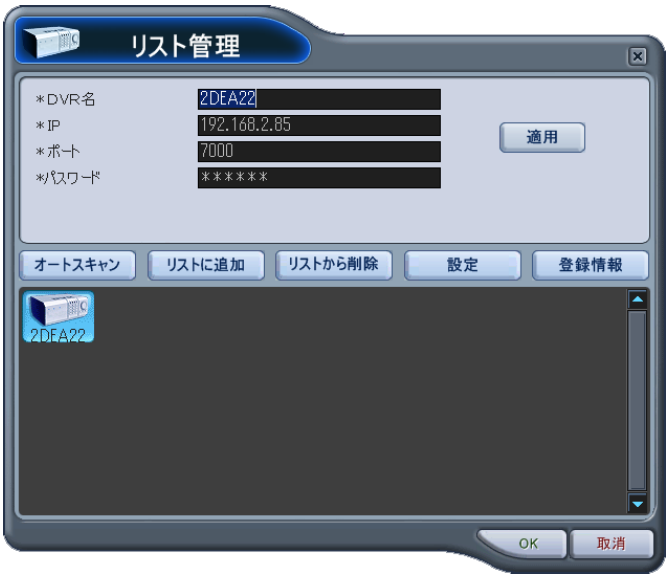
これは、DVRセットと同じログ・リストを示します。ご購入後、初めてDVRの電源を入れてからの全てのイベントを持っています。

ダブル・クリックすることによって、選択されたメッセージまたは時間が再生されます。

3. DVR制御

3.1. リスト管理

リスト管理は、主にCMSへのDVRの追加と削除に使用されます。 ボタンをクリックすると、リスト管理画面が現れます。



(1) オート･スキャン

これは、同一ネットワーク内に接続されたDVRを自動的に見つけますが、既にリスト上にある場合はスキップします。DVRのホスト名の下6桁が自動的に「DVR名」に入力され、初期設定のパスワードは「000000」(管理者)です。

(2) リストに追加

以下のステップでCMSにDVRを追加します。

① DVR名： 「監視」ウィンドウおよび「動作状態レポート」ウィンドウに表示させるためのDVR名を入力します。

② IP： IPアドレスを入力します。
＜例：192.168.0.52＞ またはDDNS名＜例： demo.dvrhost.com>

③ ポート： 7000＜初期設定＞

④ パスワード： 以下のオプションから選択：
ユーザー1～5 パスワード： DVR 本体で許可設定された一部の機能
管 理 者 パ ス ワ ー ド： 全機能

⑤ リストに追加： リストに追加 をクリックするとCMSリストへのDVRの追加を完了します。

⑥ 変更を保存してメニューを抜ける： OK をクリック

変更せずにメニューを抜ける： 取消 をクリック

※ 適用： 選択されたDVRの設定を変更するために使用します。

(3) リストから削除： CMSリストから選択されたDVRを削除します。

(4) 設定： 選択されたDVRのメニュー設定を表示します。

(5) 登録情報： DVR名、IPアドレスのような情報を提供します。

3.2. DVRの状態

DVRの状態は、接続されたそれぞれのDVRの状態を、画面下にユーザーがすぐにチェックできるよう表示します。それぞれのアイコンの意味を以下に示します。

(1) 通常

青色のDVRはDVRが何の問題もなく働いていることを意味します。
このアイコンをクリックすると、現在のライブ映像が表示されます。

(2) ネットワーク接続中

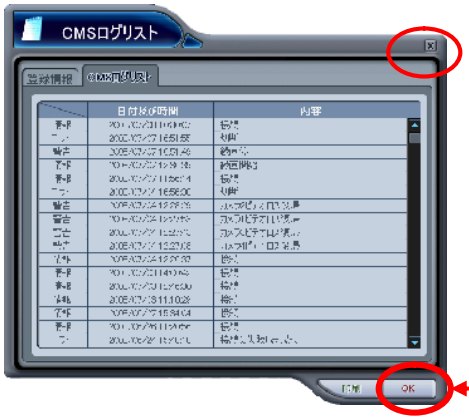
オレンジ色のDVRはCMSがネットワークを通してDVRに接続試行中であることを意味します。このアイコンをクリックすると「接続準備中です、お待ちください」と表示されます。再試行(R) または キャンセル

(3) ネットワーク・エラー／切断

ピンク色のDVRは、ネットワーク・エラーまたはパスワードの誤りで、DVRに接続できないことを意味します。ネットワーク接続エラーが発生した場合、CMSは30秒間隔でDVRへの接続を試みます。このアイコンをクリックすると、「ネットワーク・エラー」か「パスワード誤り」かを判断できます。パスワードが間違っている場合は、パスワードを変更してください。

(4) システム異常

疑問符付のオレンジ色のDVRは、イベントまたはシステムの問題を意味します。このアイコンをダブル・クリックすると、CMSログ・リストがポップアップされます



① OK を選択してメニューを抜けると色の状態は青に戻り、 メニューを抜けます。

② × (閉じる)を選択すると、以前の状態を維持したまま、メニューを抜けます。

3.3. カメラの表示

カメラの状態はカメラ・ステータス・バーには、個別のカメラの状態を表示します。カメラはチャンネルに従って表示されます。

(1) 希望するDVRをクリックします。

(2) そして、次にアイコンを左クリックすると、チャンネルの状態が表示されます。

(3) それぞれのアイコンの意味を以下に示します。

1) (青) ： 映像は入力されていますが録画されていません。

2) (暗い青) ： 映像信号の入力がありません。(ビデオ・ロス)

3) (赤) ： 入力された映像を録画中

3.4. ライブ監視

(1) 個別DVRのモニタリング

をダブル・クリックすると、ライブ映像が表示されます。

(2)　オンスクリーン表示。

画面内の文字表示は5種類あります。オンスクリーン表示はCMS設定で選択できます。

① カメラ番号： DVRのカメラ入力の番号を表示します。

② カメラ名称： DVR名またはホスト名およびカメラ名を表示します。

③ 時刻： ライブ時は現在時刻、再生時は映像が録画された時刻を表示します。

④ DVR状態：録画、ネットワーク接続、映像信号なし、イベントおよび現在の状態の表示

表示	状態
REC	ノーマル録画
Wait	接続開始後、最初の接続中
Loss	映像信号の中断(ビデオロス)
Close	DVRからの切断
Alarm	アラーム録画
Motion	モーション録画
PB	再生
Live	ライブ監視

⑤ フレームレート： 1秒間当たりの映像の送像枚数をリアルタイムで表示します。

(3) 分割画面表示

分割画面ボタン をクリックすると、対応する分割画面が表示されます。

(4) カメラの表示位置の変更

それぞれのカメラ映像をドラッグ＆ドロップすることで、希望するカメラの表示位置を変更することが出来ます。

(5) 1画面表示

1画面表示には2つの方法があります。

① 分割画面表示の時に、希望するカメラ映像が表示されているウィンドウをダブル・クリックする。(以前の分割表示のモードに戻すには、再度ダブル・クリックしてください。)

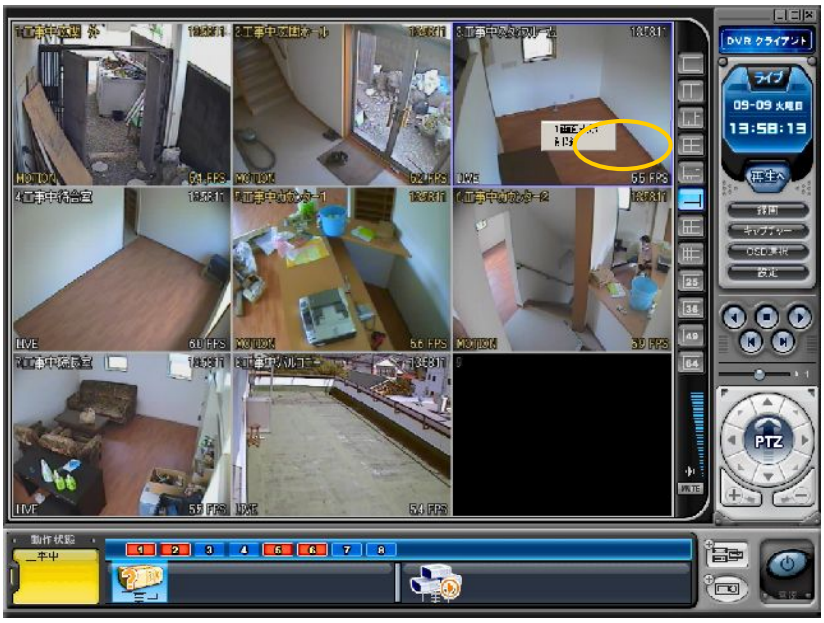
② 分割画面表示の時に、希望するカメラ映像が表示されているウィンドウをマウスで右クリックし、表示されたメニューで 1画面表示 を選択します。

3.5. コンテキスト・メニュー

コンテキスト・メニューは、チャンネル、DVR、および仮想DVRのサブ・メニューへのアクセスを可能にします。サブ・メニューは、それぞれ個別のサブ・メニュータイプの様々な機能へのアクセスを可能にします。

(1) 単独のDVRをライブ監視中のコンテキスト・メニューは1種類です。

(2) 仮想DVRのライブ監視中のコンテキスト・メニューは2種類あります。マウスを右クリックすると、コンテキスト・メニューが表示されます。



① 1画面表示： 全画面表示

② 削除：画面上からこのチャンネルの画面を削除

(3) これらの、各DVRのコンテキスト・メニューは7種類です。

1) ラ　　イ　　ブ： 選択されたDVRのライブ表示
2) 登　録　情　報： DVRの情報
3) CMSログ・リスト： CMSのログ情報
4) DVRログ・リスト： DVRのログ情報
5) POSデータ検索： 未使用(予定機能)
6) 設　　定： DVRのメニュー設定
7) 削　　除： DVRウィンドウから、選択されたDVRを削除します。

(4) 再生ウィンドウのコンテキストメニュー

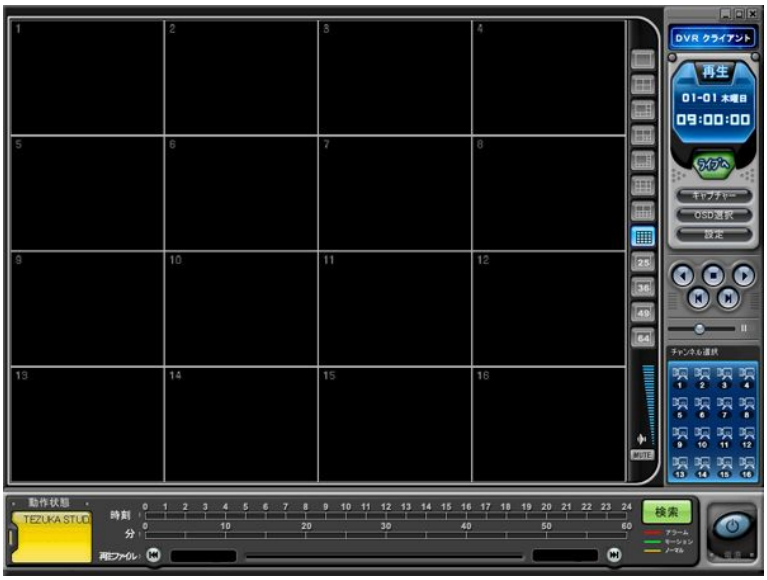
3.6. 再生

再生モードに切り替えることで、PCから「リスト管理」で登録されたDVRの、遠隔再生またはファイルのダウンロードをすることができます。ライブモードとは異なり、1度に複数のDVRにアクセスすることはできません。

(1) 再生モードに入るには、

ボタンを押します。

(2) これで、下図のような再生モードに切り替わります。



(3) 次に 検索 ボタンを押すと、「リモート検索」メニューが表示されます。

(4) (DVRに録画された映像を再生またはダウンロードするには、 リモート ボタンを、パソコンにダウンロードされたファイルを再生するには ローカル ボタンを選択します。

1) リモート再生

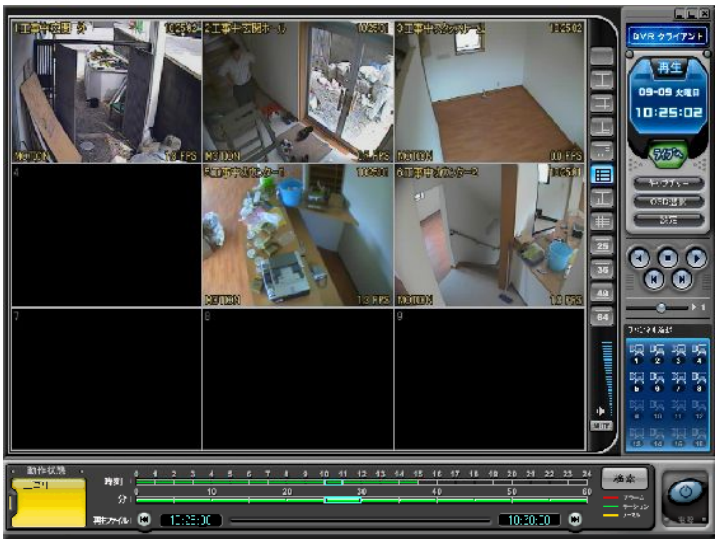
リモート再生は、DVRに内臓されたHDDに録画された映像を、CMSを通して直接再生することができます。

① リモート ボタンと、希望するDVRを選択します。

② リモート検索は、DVRに記録された映像を、グラフィカルな表現で表示します。データは録画されたときの録画モードによって色分けされています。

アラーム(赤) ＞ モーション(緑) ＞ ノーマル(黄). (「＞」不等号は優先度)

③ 希望する日時を選択します。バーグラフをクリックして、再生ボタンをクリックすると再生を開始します。



2) リモート・ダウンロード

リモート・ダウンロードは、DVR内臓のHDDに録画された映像を、CMSを通して、直接パソコンにダウンロード保存する機能です。

① リモートボタンと希望するDVRを選択します。

リモート検索は、DVRに保存されている録画された映像を、グラフィカルな表現で示します。

② 希望する日時を選択します。マウスでバーグラフをドラッグすることで、ダウンロード範囲を広げることが出来ます。 ダウンロード ボタンをクリックすると、保存が開始されます。保存場所の初期設定は「C：¥Program Files¥DvrPlayer¥Download」です。保存フォルダ(ディレクトリ)は、「CMS設定」メニューで変更できます。

a. BEGIN – END： 選択されたファイルの開始と終了時間を表示。
b. CURRENT： 現在ダウンロードされたファイルの時間を表示。
c. 中止： 取消 ボタンで、ダウンロードを中止。
d. DOWNLOAD COMPLETE： ダウンロードが完了すると、「CURRENT」の時間表示が下図のように、「DOWNLOAD COMPLETE」メッセージに変わりますので、 OK をクリックします。

3) ローカル

「ローカル」メニューは主にDVRからCMSを通してパソコンにダウンロードされたデータを見るために使います。

① ローカル ボタンを選択します。

② ローカル検索では、PCに保存されたファイルがグラフィカルな表現で表示されます。

③ バーグラフで範囲を指定します。

④ 再生 ：再生が開始されます。

削除 ：選択されたファイルを、PCから削除します。

名前を付けて保存 ：選択されたファイルを、PCの別のフォルダ、または他のドライブに保存します。

ファイルを開く ：DVRでバックアップされたUSBメモリーCDやDVDを視聴用します。

3.7. DVRメニュー設定

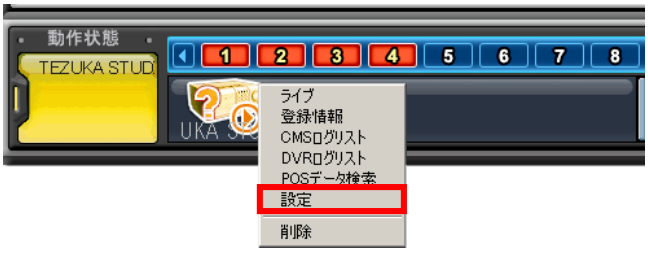
※ DVRメニュー設定は、DVR本体のメニュー画面にアクセスするように、CMSを通してDVRの様々なシステム設定を変更できます。

※ DVR設定は、各DVRアイコンのコンテキスト・メニューを使ってアクセスできます。

※ ここでは、画面のみ説明しますので、具体的な機能については、「V．メイン・メニューの操作」を参照してください。

※ なお、設定の変更は「タブを変更した場合」「 OK ボタンをクリック場合」「 適用 ボタンをクリックした場合にDVRに反映されます。これらの操作をする前に 取消 ボタンをクリックした場合には反映されません。

メニュー設定をするには、各DVRを選択し、右クリックで表示されるコンテキスト・メニューから、「設定」を選択します。



1) 画面

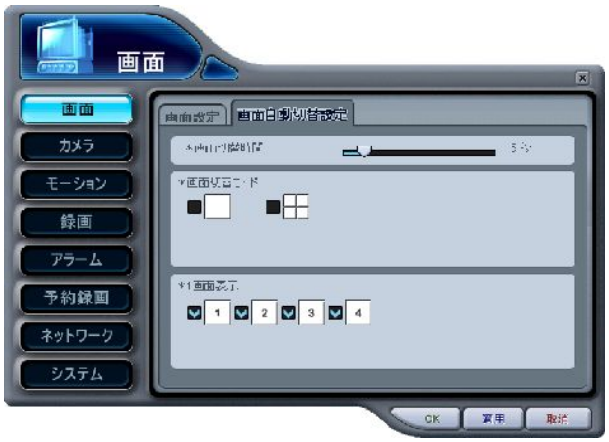
① 画面設定

本体の「メニュー」→「画面」→「画面設定」と同じです。

<注意> 遠隔操作では、「画面デバイス」を切り替えることはできません。

② 画面自動切替設定

本体の「メニュー」→「画面」→「画面設定」と同じです。



2) カメラ

本体の「メニュー」→「カメラ」と同じです。

<注意> カメラ番号を切り替えると、変更した設定がDVRに反映されます。

3)　モーション

本体の「メニュー」→「モーション」と基本的な機能は同じですが、CMSからは、本体による設定より細かなモーションエリア選択が可能です。

①　ボタンのクリックによる方法

左図の赤枠の部分のボタンをマウスでクリックすることで、ボタンに描かれたパターンのモーションエリアを選択します。

②　右側の画面をマウスでクリックする方法

左図の赤枠部分の画面を直接マウスのボタンでドラッグしながらマウスを移動すると、連続して選択・解除ができます。

左ボタン：選択

右ボタン：解除

※　この方法では横28×縦24の、きめ細かなモーションエリア選択が可能です。

4) 録画

本体の「メニュー」→「録画」と同じです。

5) アラーム

① 録画設定

本体の「メニュー」→「アラーム」→「録画設定」と同じです。

② アラーム設定

本体の「メニュー」→「アラーム」→「アラーム設定」と同じです。

③ アラーム使用設定

本体の「メニュー」→「アラーム」→「アラーム使用設定」と同じです。

6) 予約録画

① 予約録画設定

本体の「メニュー」→「予約録画」→「予約録画設定」と同じです。

各曜日の設定も本体の表示と同じです。

② モード1～4

本体の「メニュー」→「予約録画」→「モード(1～4)」と同じです。

7) ネットワーク

① 設定

本体の「メニュー」→「ネットワーク」→「IPアドレス設定」及び「設定」に該当する項目になりますが、CMSによる遠隔設定可能な項目には、制限があります。

ネットワーク				
CMS遠隔操作「設定」タブ		本体操作		
項目名	操作	タブ名	項目名	操作
設定 (固定／DHCP)	表示のみ	IP アドレス 設定	IPアドレス (固定／DHCP)	可
IP設定→IPアドレス	表示のみ		IPアドレス→IPアドレス	可
IP設定→ゲートウェイ	表示のみ		IPアドレス→ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ	可
IP設定→ネットマスク	表示のみ		IPアドレス→ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	可
項目なし	不可		DNSサーバー	可
IP設定→ポート	表示のみ		ポート設定	可
IP設定→使用帯域幅	可	設定	使用帯域幅	可
IP設定→PINGブロック	可		PINGブロック	可
IP設定→ スキャンブロック	可		スキャンブロック	可

② Eメール

本体の「メニュー」→「ネットワーク」→「Eメール」と同じです。

<注意> CMSによる、遠隔操作でのネットワーク設定では、DDNS機能の設定変更はできません。DDNS機能の設定は本体またはリモコンで行ってください。

<注意> DDNS設定は、工場出荷時「OFF」に設定されていますので、本機を動的グローバルIPアドレス環境で使用される場合には、DDNS設定を忘れないようにしてください。

<注意> 本機を業務用として使用されるなど、ネットワークに高い接続信頼性を必要とされる場合には、ご契約のインターネットサービスプロバイダと、「固定IPアドレス」契約をして、CMSでIPアドレスを直接指定するようにしてください。

8) システム

① 設定

本体の「システム」→「設定」及び「ディスク」タブと、ほぼ同じ機能を持ちますが、下表のように項目の名称が異なる部分があります。また、一部利用できない機能があります。本体にない設定項目は働きません。

CMSの項目名	本体のタブ名	本体の項目名
システムID	設定	リモコンID
自動キーロック		自動キーロック
ブザー音		キー操作音
項目なし		コントローラ
最大録画フレーム数		録画サイズ
RECORD LIMIT		RECORD LIMIT
項目なし		再生映像補正
項目なし		RUN ON BOOT
項目なし		パスワード
内臓HDD (繰り返し録画／マニュアル)	ディスク	内臓HDD (上書き録画／上書きなし)
外部HDD (繰り返し録画／マニュアル)	項目なし	

② 時刻

本体の「システム」→「日時設定」と同じです。

<注意>日時設定を行う前に、録画を停止してください。

③ パスワード

将来のための予定機能です。現在のところ、ご利用いただけません。

④ コントロール

「録画」と「予約録画」の開始と停止を個別に操作できます。

録画と予約録画を停止している状態

録画と予約録画を開始している状態

<注意> 「録画」と「予約録画」のボタンの表示方法が異なる点にご注意ください。

4. 仮想DVR

4.1. 仮想DVRとは

仮想DVRは実際のDVRではありませんが、既にDVRウィンドウにリストされた、複数のDVRを組み合わせてグループ化することで1つの画面に表示する機能です。 1つの仮想DVRセットの元で、最大64のDVRを追加できます。それぞれのDVRから、ひとつのカメラを選んで表示できます。仮想DVRは、警告通知以外、通常のDVRと同じように振舞います。

<注意> 1つの画面に表示可能なカメラ台数は、DVRの接続台数に関係なく64台です。
従って、例えば、全てのカメラの画面を同時に表示させたい場合、1つのCMSで対応可能なDVRの台数は下表のようになります。

機種	DVR台数
4チャンネル機	16台
8チャンネル機	8台
16チャンネル機	4台

4.2. 仮想セット・リスト管理

仮想セット・リスト管理は、CMSへの仮想DVRセットの追加と削除に使用されます。

ボタンをクリックすると、セット・リスト管理を開始します。セット・リスト管理メニューは下図のようにポップアップされます。

(1) CMSリストの追加

次のステップで仮想DVRを作ってください。

1) DVR名： CMSウィンドウに表示させる仮想DVRタイトルを入力します。

*** 自動整列 ：**

このオプションをチェックすると、CMSは仮想DVRに登録されたカメラからの任意に起きるイベントでカメラの表示位置を揃えます。イベントの起きたカメラは自動的にチャンネル1に移動します、そのため、優先度の順に整列されます。

*** 自動追加と整列 ：**

このオプションをチェックすると、イベントによるカメラ映像の整列に加え、それまで表示に含まれていなかったカメラも、自動的に優先表示します。ただし、DVR1台あたりのカメラ総数は変わらないので、優先度の低いカメラは表示されなくなります。

*** アラーム モーション ビデオ・ロス：**

- それらのオプションをチェックすると、カメラは、アラーム、モーションまたはビデオロスによる自動整列と自動挿入が行われます。

2) 仮想セットの追加： 「仮想セット追加」ボタンをクリックすると仮想セットを追加します。個別のセットと同じ名称を重複させないでください。

3) 変更を保存し、メニューを抜ける： 「OK」を選択します。

4) 変更せずにメニューを抜ける： 「取消」をクリックします。

※ 適用： これは、選択された仮想DVRの名称を変更するために使用します。

(2) 仮想セット削除： CMSリストから選択された仮想DVRを削除します。

(3) 登録情報： このメニューは仮想セット名のような情報を提供します。接続されたDVR数の合計、接続されたDVRの選択されたカメラ数とIP情報の合計

4.3. 仮想DVRの編集

(1) 希望する仮想DVRをダブル・クリックします。

(2) 選択された仮想DVRが有効になり、そして「▷」で表示されます。

(3) 表示のためにマルチスクリーンのいずれかを選択します。

(4) カメラの追加方法は2種類： ひとつはDVR全体、そしてもう一つは、それぞれのDVRの、選択されたカメラです。

1) 希望するDVRのカメラ全体

① 希望するDVRをドラッグし、直接希望するチャンネルの位置にドロップします。

② カメラは選択されたチャンネルから番号順に追加され、その数はDVRのチャンネル数に依存します。

下の例では、8ch DVRをチャンネル番号5にドラッグしています。

2) DVRの任意の選択されたカメラ

① 仮想DVRが有効になっている間、DVRウィンドウの任意のDVRをクリック

② カメラ・アイコンが表示された後、DVRの任意のカメラをドラッグし、希望チャンネルに直接ドロップします。

たとえば、2番目のDVRのカメラNo 1がチャンネルNo 8に追加。

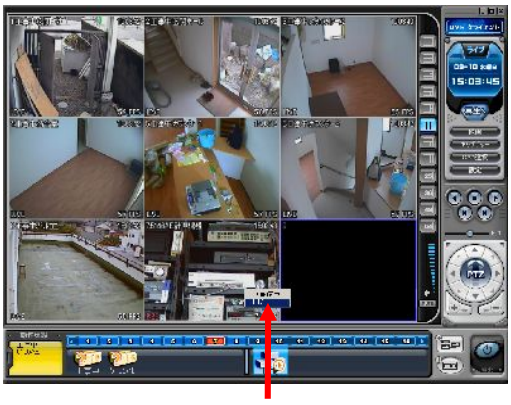
< **注意** > 同じチャンネルで重複する場合、既存のカメラに新しいカメラが置き換えられます。

(5) カメラの削除

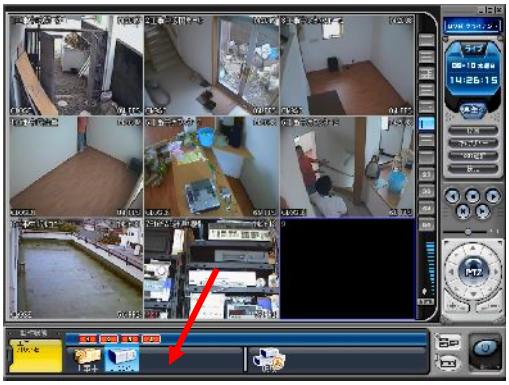
CMSからカメラを削除するには2つの方法があります。

1) ライブ監視中に削除するカメラを選択します。画面を右クリックするとコンテキスト・メニューが現れます。「削除」を選択

2) 削除する任意のカメラを選択し、DVRウィンドウまたは仮想DVRウィンドウに直接ドラッグ



コンテキスト・メニューから「削除」を選択



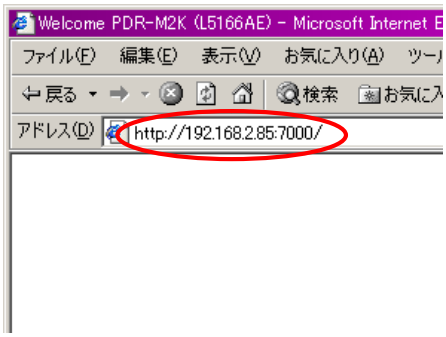
DVRウィンドウまたは仮想DVRウィンドウに移動することで削除

4.4. 仮想DVRのライブ表示

実際のDVRと同じです。

付録 1： Web viewer

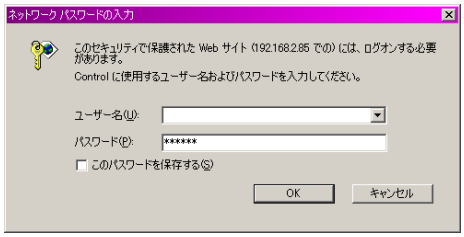
Internet Explorer上でDVRのライブ映像を見ることができます。ユーザーがPCに専用のCMSソフトウェアをインストールする必要がないので、大変便利です。



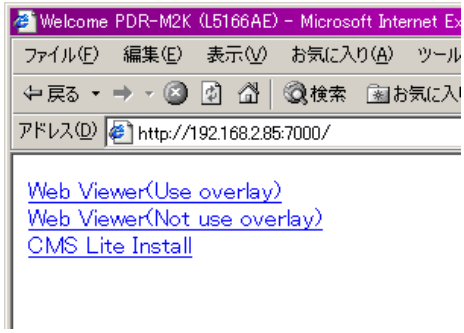
本機ののIPアドレスをInternet Explorerのアドレス・バーに入力します。

例えば、「http：//192.168.2.85：7000」とタイプ。

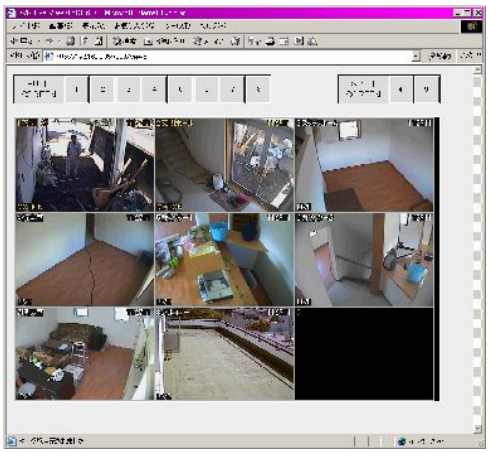
上の例はポート7000を利用している場合の、サンプルです。



サインインするユーザー名：空欄。
次に本機のパスワードを入力。
(工場出荷時「000000」)



DVRに接続するために「Web Viewer(Use overlay)」をまたは、「Web Viewer(Not use overlay)」をクリックします。



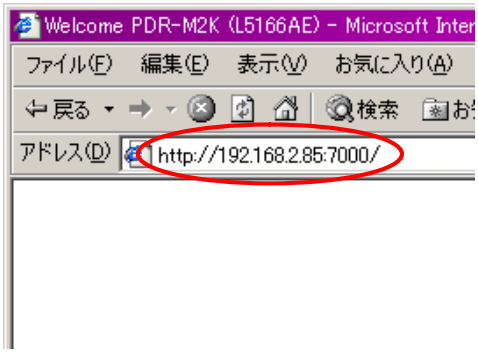
左図のように、ライブ映像が表示されます。

付録 2： CMS Lite

CMS Liteは、本機のライブ映像の監視、録画映像の再生及びダウンロード、ダウンロードされた映像の再生が可能です。(複数台の監視と遠隔制御はできません)

CMS-Liteはソフトウェアをダウンロード後、インストールしてから使用します。

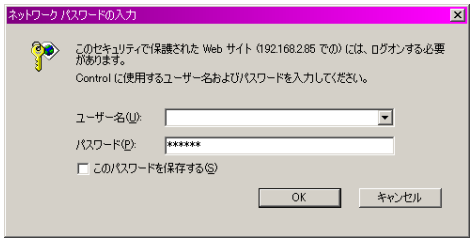
<注意> CMS Liteは、インターネットからダウンロードされますので、お客様のパソコンが、インターネットが利用できないLAN環境では、ダウンロードができません。



本機ののIPアドレスをInternet Explorerのアドレス・バーに入力します。

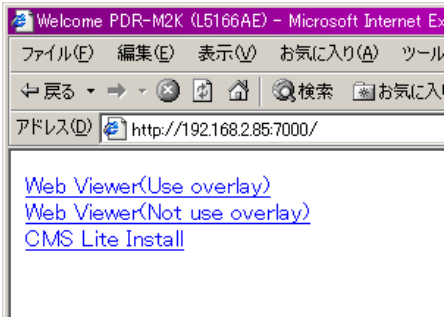
例えば、「http：//192.168.2.85：7000」とタイプ。

上のユニットの例では、ポート7000を利用しています。



サインインするユーザー名：空欄。

次に本機のパスワードを入力。



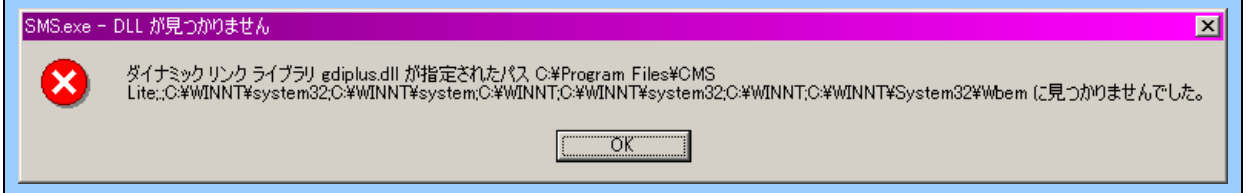
「CMS Lite Install」をクリックします。

保存をクリックして、パソコンの適当なフォルダに保存します。

cmslitesetup.exe 実行して、指示に従ってインストールしてください。

<注意>

Windows2000以前のOSでは、インストール後、CMS Liteを実行すると、以下のようなエラーが出ることがあります。


SMS.exe - DLL が見つかりません
ダイナミック リンク ライブラリ gdiplus.dll が指定されたパス C:¥Program Files¥CMS Lite;;;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT¥system;C:¥WINNT;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT;C:¥WINNT¥System32¥Wbem に見つかりませんでした。
OK

このような場合は、以下の Microsoft ウェブサイトから「gdiplus.dll」をダウンロードして、インストールする必要があります。

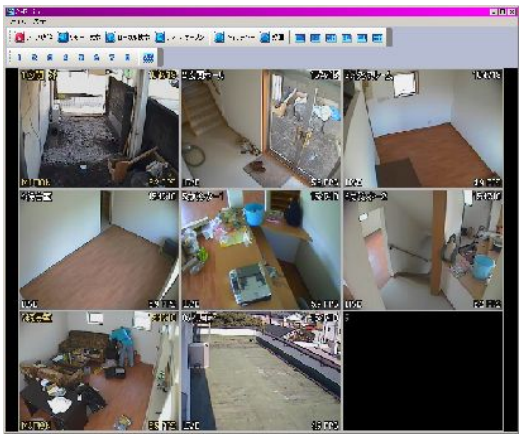
http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=6A63AB9C-DF12-4D41-933C-BE590FEAA05A&displaylang=en

しかしながら、このインストールには、ある程度のWindowsに対する高度な知識が必要です。自信のない方は、Windows XPでのご利用をお勧めします。

「CMS Lite」を起動すると、左の画面が表示されます。

I　　P：DVRのIPアドレスまたはホスト名を指定します。
ポ　　ー　　ト：DVRのポート番号を指定します。(初期設定7000)
パ ス ワ ー ド：DVRの接続パスワード
ビ　　デ　　オ：必ず「NTSC」を選択します。
ダ ウ ン ロ ー ド：ダウンロードファイルの保存先を指定します。
ネットワーク接続：DVRに接続します。
フ ァ イ ル 再 生：ダウンロードファイルを再生します。

CMS Liteのライブ映像



ボタンの配置や形状は異なりますが、基本的な使い方はCMSソフトウェアと同じです。

付録 3： 仕様

仕様	4CH	8CH	16CH
映像入力/ループ・スルー出力	4/0	8/0	16 /0
映像出力	Monitor, VGA, SPOT-OUT		
圧縮方式	MPEG 4		
ライブ表示解像度	720×480		
アラーム入力/出力(リレー)	4/1	8/2	16/2
オペレーティング・システム	組込型 LINUX		
システム制御	キーボタン、赤外線リモコン、リモート・クライアント、キーパッド		
ライブ表示速度	4/8/16 CH リアルタイム		
最大録画速度	30 fps 720×480、60 fps 720×240、120 fps 360×240		
音声録音	1 入力, 1 出力	4 入力, 1 出力	
特長			
カラー調整	チャンネル毎の明るさ、コントラスト、カラー(彩度)調整		
カメラ名	カメラ毎に半角英数 8 文字		
録画モード	ノーマル、予約、アラーム、モーション		
録画方法	5 段階の圧縮率 / 録画フレーム・レート調整		
録画調整	アラーム前： アラーム後 3 秒： 10 秒.～300 秒		
チャンネル毎のモーション検出	4×4 分割 (本体)/ 28 x 24 分割(CMS)/ 感度設定 20 段階		
検索モード	日時、カメラ、アラーム、モーション		
再生モード	送りおよび戻し方向： 一時停止、コマ送り、等速、2 倍、4 倍、8 倍、16 倍		
マルチ・タスク処理	即時ライブ表示、再生、録画または再生、遠隔送信		
自己診断	停電復旧： 自動再起動。以前の録画設定を保持することで自動再起動		
電子透かし	未サポート		
バックアップ	内臓 CD/DVD , USB フラッシュ・メモリー		
インターフェース	RS422、Ethernet(10/100 Base-T)、USB 1.1		
HDD	内臓 HDDS×1 ＋CD RW、DVD RW		
ネットワーク	LAN、WAN、Internet,		
遠隔監視ソフトウェア	マルチサイト・クライアント・ソフトウェア(CMS)、IE		
赤外線リモコン	99 台までの DVR を制御		
一般			
電源	DC 12V		
動作温度	0℃~40℃		
寸法 / 重量	350(幅)×180(奥行)×82(高) / 3.5Kg		

2007年8月改訂

<MEMO >